

1 9 9 9

授業概要

【シラバス】

教養科

白梅学園短期大学

SHIRAZUME GAKUEN COLLEGE

目次（教養科）

教養教育科目（1年）

文学・フィクションと人間	3
王朝文学の世界	4
話し言葉の文芸	5
近代日本の歴史	6
西洋文学	7
西洋史概説	8
東洋美術	9
演劇論	10
現代社会論	11
現代家族論	12
日本国憲法	13
市民生活と法	14
政治学入門	15
生活の経済学	16
心理学入門	17
マスコミュニケーション概論	18
自然科学史	19
生命の科学	20
生物と環境	21
生活の科学	22
健康の生理学	23
宇宙と地球	24
総合科目 人間	25~27
総合英語 I - 1、2	28~31
選択語学 I - 1、2（英語）	32~38
選択語学 I - 1、2（独語）	39・40
選択語学 I - 1、2（仏語）	41
選択語学 I - 1 海外語学研修	42
スポーツA（テニス）	43
スポーツA（バドミントン）	44
スポーツA（バレーボール）	45
スポーツA（ダンス）	46
スポーツB（キャンプ）	47
健康科学	48
スポーツ科学	49

専門教育科目（1年）

教養演習 I	53~60
英国語学研修	61
英語特別演習	62
英文の構造	63
英語の音声	64
リーディング	65
英語表現	66
英会話 I	67
英語圏の文化	68
文学の読み方	69
日本文学史	70

小説の世界	71
日本語表現法	72~74
比較文学	75
歴史の見方	76
古代の歴史（考古学を含む）	77
資料で読む歴史	78~80
日本文化論	81
生涯学習概論	82

情報・資格科目 情報科目（1年）

情報検索演習	85・86
情報機器論	87・88

情報・資格科目 博物館科目（1年）

博物館学	91
博物館実習	92
教育学概論	93

情報・資格科目 司書科目（1年）

図書館概論	97
図書館資料論	98
資料組織概説	99
資料組織演習	100
児童サービス論	101
図書及び図書館史	102

教養教育科目（2年）

総合英語Ⅱ－1、2	105~108
選択語学Ⅱ－1、2（英語）	109・110
選択語学Ⅱ－1、2（独語）	111
選択語学Ⅱ－1、2（仏語）	112

専門教育科目（2年）

日本文学史（中・近世）	115
日本文学（古代）	116
日本文学（近・現代）	117
漢文学	118
日本中世史	119
日本近世史	120
日本近現代史	121
近代と西洋思想	122
アメリカ文学講読	123
英語表現Ⅱ	124
イギリス文学史	125
アメリカ文学史	126
西洋文学思潮	127
芸能史	128
映像文化論	129
比較文学	130

東洋文化史	131
現代日本政治	132
日本女性史	133
現代女性論	134・135
文化人類学	136
社会思想史	137
西洋史	138
国際関係論	139
アジア・アフリカ論	140
書道Ⅰ	141
教養演習Ⅱ	142~149
卒業研究	150

教職科目（2年）

書道Ⅱ	153
教育実習	154

博物館科目（2年）

博物館実習	157
視聴覚教育メディア論	158

司書科目（2年）

図書館サービス論	161
情報サービス概説	162
レファレンスサービス演習	163
専門資料論	164
資料特論	165
コミュニケーション論	166
図書館特論	167

教養教育科目（1年）

【授業科目】 文学・フィクションと人間

【担当者】 栗田廣美

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

小説・映画・ドラマ 中の世界は、**どこに** あるのだろうか？
それは、我々の住んでいる「この現実」とは別の、「もう一つの別世界」だ。
この「別世界」の構造（しくみ）を考え、「芸術・フィクション」の秘密に迫るのが目標です。

【テキスト】

随時、プリントを配布します。プリント以外の「読書課題」は、ありません。

【参考書】

必要に応じ、講義中に紹介します。特別に買う「義務」はありません。

授 業 計 画

だいたい、次のような流れで、講義して行きます。
具体的作品は、プリント等を使って紹介＝解説します。

① 「フィクション」について

例えば「小説」に書かれたことは、要するにすべて「作り事」、つまり、「フィクション・虚構・ウソッパチ」だ。……映画も、テレビドラマも同じこと。
しかし、我々は、**なぜ**、そんな「ウソッパチ」に感動したり、
中には「生き方が変わってしまう」人まで出てくるのか。

② 「作品世界」の構造（しくみ）について

「作品世界＝もう一つの別世界」は、どのような「仕組み」で出来ているのだろうか。
そもそも、それは、誰が「見ている」世界なのか。「語っている」のは「誰」なのか。
少なくとも、いわゆる「作者」ではないはずだ。

③ フィクションと「現実」について

小説・映画・ドラマは「現実ではない」という。
では、「現実」とは、何なのだろうか？
何が「フィクション」で、何が「フィクションではない」のか。

……日本とヨーロッパの、近代文学作品を中心に、
美術や音楽も視野に入れた講義になると思います。

【評価方法】

筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて「書く」形式。
講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておけば、大丈夫。
出席点を加味して、総合的に評価する。

【授業科目】 王朝文学の世界	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】 日本の古典作品の多くが、受験文法のために使われるのみで、その内容を知られないままに終わってしまうのは、とても残念なことだと思われる。</p> <p>優れた古典は、作品としての主張を持っており、現代に生きる私たちの解説をこそ待っている。王朝文学のおもしろさに気づくことが、第一の目標である。ついで作品の主張の意味を時代に即して考えることにしたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>岩波文庫『竹取物語』・配布プリント</p> <hr/> <p>【参考書】</p> <p>授業時に紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>初期の物語作品からまず『竹取物語』をとりあげ、口伝えによるカタリから物語が生成してくるの意味について、考えていく。</p> <p>ついで『源氏物語』をとりあげて、物語の成熟のさまを見る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、様々な竹取の物語 2、カタリの話型と、話型による物語 3、難題婚譚の達成 4、かぐや姫とは何か（物語の主題） 5、物語の中の異界：『古事記』の場合・『源氏物語』の場合 6、源氏物語の論理：形代・予言・宿世・身分 7、源氏物語の主題：王法と仏法・社会制度と自我 	
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時のまとめメモ ・定期試験時のレポート（または筆記試験） 	

【授業科目】 話し言葉の文芸

【担当者】 東 喜望

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

将来に資するために、口承文芸をとりあげます。
初めに、口承文芸（昔話・伝説・神話など）を概観し、日本の代表的な話をとりあげながら、その話の淵源をたずねていきます。
大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考究していく予定です。

【テキスト】 拙著『沖縄奄美説話探訪』（おうみ社） 講義資料プリント。

【参考書】 授業時に随時指示する。

授 業 計 画

この講座は、はじめ保育科だけを対象にしていましたが、その後、各科共通になりました。新しく福祉援助学科もできましたので、人間の真のヒューマニズムを考えるためにも、悪や犯罪の民俗にかかわる民話も積極的にとりあげることになりました。各説話の事例をして、南西諸島の説話をとりあげます。

講義の概要

- I. はじめに——「虚学」のすすめ----- (1)「浦島説話の源流」
(2)「わが国をニッポンというのなぜか。——古事記「岩戸神話」のルーツ
- II. 精神のコスモロジー----- (1)自然と人間 (2)ことばと文化
(3)「謡い」「語り」の発生→文芸の起源
- III. 口承文芸概説--- (1)信仰と説話 (2)神話・伝説・昔話
- IV. 民話の現代性----- 愚を告発する民話——(1)間引き・子がえい伝承。
(2)継子・子売り・捨子伝承 (3)嫁殺し・兄弟殺し・親捨(姥捨)伝承。
(4)いけにえ伝承。

【評価方法】 定期試験時の筆記試験

【授業科目】 近代日本の歴史	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>歴史的なものの見方、考え方を身につけてもらうために、日本の近代史を題材にしなが ら、時間の流れの中で移り変わり、変化をとげていく社会を構造的にとらえていく 手法について話しをしたい。どのような視点から歴史を見つめるかといったことから まず検討し、それを実践したとき何が見えてくるかを明らかにしてみる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>多数あるので講義中に逐次紹介する。資料はプリントして配布する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>これまでの歴史の学習の中ではあまり体験したことのない、ローアングルからの歴史 認識ということについてまず説明してみたい。歴史を支え、突き動かしている民衆 に視座を据えたこのアプローチからは、近年、多くの研究成果が生み出されているが、 実は、明治の初期に、すでにこのような視角から当時の民衆生活を克明に描き、そう いった人々をとりまく社会の構造について分析したルポや研究の書があった。まず、 これらを導きの糸にして、なぜそのような視角が成立し、そのような作品があらわれ ることになったのかを、当時の時代状況を検討することで明らかにしようと思う。歴 史的な事件や人物などの細かい知識は不要。ダイナミックに近代の全体像をつかみ、 その中でいろいろな形で歴史との関わりをもった人々に細心の注意を払い、その生き 様をみつめる目を養うことが重要。以下、次のようなテーマを設定して講義を進めた い（但し、順不同）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史を学ぶことについて—まずは固定イメージの転換から ・ ローアングルからの歴史とは ・ 日本近代の見取り図—近代史像のダイナミズム ・ 明治という時代—人々を取り巻く国家の枠組みは ・ 底辺民衆を見つめる目—潜入ルポルタージュの先駆、松原岩五郎 ・ 『日本之下層社会』が問い掛けたもの—近代化の実相 ・ 成金時代に書かれた『貧乏物語』—足腰の弱い経済発展 ・ 恐慌と戦争の1930年代—民衆が求めたものは 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 西洋文学	【担当者】 衣川清子
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">本年度のテーマ：映画になった西洋文学</p> <p>最近、映画化される西洋文学作品が多い。良質のストーリーを求めると優れた文学作品に行き着くためと、優れた文学作品が文化的遺産として時代を超えて受け継がれているためであろう。一方、現代の視点と問題意識で作られた映画は、文学作品に新しい解釈をもたらすことがある。また映画化のたびに違った相貌を見せる作品もある。本年度は映画を案内役に、豊かな西洋文学の世界に近づいていきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>毎回一つの文学作品について、映画の一部を視聴し、時代を経ても色褪せない文学の魅力のありかを考えたい。取り上げる予定の作品：</p> <p>ジェイン・オースティン『いつか晴れた日に』(1811年)；同映画(1995年)</p> <p>シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』(1847年)；同映画(1944年及び1996年)</p> <p>ウィリアム・シェイクスピア『ロミオとジュリエット』(1595年)；同映画(1968年及び1996年)</p> <p>ルイザ・メイ・オルコット『若草物語』(1868年及び1869年)；同映画(1933年、1949年及び1994年)</p> <p>マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』(1936年)；同映画(1939年；リマスター版公開1998年)</p> <p>チャールズ・ディケンズ『大いなる遺産』(1860-61年)；同映画(1998年)</p> <p>アリス・ウォーカー『カラーパープル』(1982年)；同映画(1985年)</p> <p>エイミ・タン『ジョイ・ラック・クラブ』(1988年)；同映画(1993年)</p> <p>*作品は変更する場合がある。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点とレポート。</p>	

【授業科目】 西洋史概説	【担当者】 松本佐保
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>西洋の歴史について学ぶことは、何も過去についての知識を得るだけでなく、現代の西洋世界がいかにして形成されたかを知ることである。現代のような国際社会において、西洋の歴史や文化を知ることが、国際理解を深める上で非常に重要である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは用いないが、授業中に資料やプリントなどを配布する。</p>	
<p>【参考書】 参考文献は、授業中に随時紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>歴史的な事件そのものを追うだけではない、文化的側面にも焦点をあて歴史を多角的に見ていく。政治的・経済的出来事が、いかに文化活動や様々な社会現象と関連があったかを理解することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 西洋古代文明の形成：ギリシャとローマ時代を中心に 2. 中世キリスト教社会の成立 3. ルネサンス時代：イタリア都市国家とルネサンス文化の開花 4. 宗教改革：カトリックとプロテスタントの対立 5. 重商主義と商業革命：フランスとスペインを中心に 6. 帝国主義と産業革命：イギリスを中心に 7. 商業革命と産業革命時代の都市文化—民衆の生活様式の変化— 8. フランス革命とナポレオン戦争 9. ウィーン会議から社会主義の誕生まで 10. 近代国民国家の形成：アメリカ、ドイツ、イタリアを中心に 11. 第一次世界大戦とその歴史的意義 12. 第二次世界大戦と戦後 13. 総括 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（出席状況、但し私語などで授業妨害した場合減点）、レポートと試験の結果に応じて評価する。</p>	

【授業科目】 東洋美術	【担当者】 鈴木 泉
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>東洋美術の中核は仏教美術であり、その仏教美術を知るための基本的存在が仏像彫刻と言って差し支えない。本授業では、この仏像彫刻の歴史的な展開を、東洋の端に位置する日本を例に概観し、東洋美術の一面を垣間見ることとする。そこから、美術作品を見る眼、さらには美術に対する教養・知識の幅を広げることが狙いではあるが、なにより受講者諸君には、仏像を通して美術鑑賞の面白さを知ってもらいたいと考えている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは用いず、適宜プリント資料を配布する。なお、参考文献等は必要に応じて授業中に紹介して行くつもりである。</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>紀元前6世紀、釈迦によってインドに誕生した仏教は、紀元1世紀頃、礼拝対象としての仏教尊像すなわち仏像を造り出した。やがて、仏教の広まりとともに仏像もアジア各地に伝わり、それぞれの国・地域でその表情や姿を変えて行くのである。通例「東洋」とは、インド以東、主に東南アジア諸国・中国・朝鮮・日本を指す語といてよい。しかし、その範囲は広く、各地域で文化の様相が異なり、美術様式も一様ではないため、必然的に地域・内容を絞らざるを得ない。</p> <p>今年度は、我々にもっとも身近な日本の仏像彫刻に焦点を当て、その様式の古代から中世にかけての変遷について概観する。日本の美術は、常に大陸、とりわけ中国・朝鮮の強い影響を受けて進展を遂げて来た。彫刻も例外ではない。したがって、本授業においてもこの点を十分に踏まえ、随時中国・朝鮮等の仏像を比較参照の意味で紹介して行きたいと思っている。なお、授業は大凡以下の順序・内容となる。一つのテーマを1～2回の講義でまとめて行くつもりである（授業回数の都合により一部変更する場合あり／ほぼ毎回スライドを使用する予定）。</p> <ol style="list-style-type: none"> I. 仏像の誕生とその伝播 <ol style="list-style-type: none"> ①インドから中国・朝鮮への流れと日本への伝播 II. 仏像の見方 <ol style="list-style-type: none"> ②仏像の形式 ③仏像の材質・構造 III. 日本における仏像様式の展開 <ol style="list-style-type: none"> ④飛鳥時代の彫刻：[仏教伝来][渡来仏][止利仏師][止利様式と非止利様式][法隆寺の諸像] ⑤白鳳時代の彫刻：[小金銅仏][当麻寺の諸像][旧山田寺仏頭][童顔] ⑥天平時代の彫刻：[法隆寺塔本塑像][薬師寺・興福寺・東大寺・唐招提寺の諸像][写実] ⑦平安時代の彫刻：[唐招提寺木彫像群][一木造像][大仏師定朝][奇木造像] ⑧鎌倉時代の彫刻：[運慶・快慶と慶派仏師][新たな写実様式] IV. 総括 <ol style="list-style-type: none"> ⑨日本の仏像彫刻の特質／東洋美術への誘い～美術鑑賞のすすめ～ 	
<p>【評価方法】</p> <p>①平常点（出席状況・受講態度等） ②レポート（1回） ③学期末試験（筆記） 以上を総合して評価する。詳細はあらためて授業中に説明する。</p>	

【授業科目名】 演劇論

【担当者】 高橋秀雄

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】 “人生は劇場なり”という言葉があり、また、演劇は宗教儀礼から起しているという説があるように、演劇は古くから生活の中の文化として成立し、多様な展開をみせてきた。この演劇の展開の歴史を辿り、演劇について考察を試み、とくに西洋と東洋、さらには日本との比較の中で演劇の特質を探究する。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書：各種演劇関係書(その都度指示する)

授 業 計 画

洋の東西における演劇の特色を明らかにするとともに、演劇の構成要素である演出・演技・舞台美術・照明・音響・衣裳などの演劇の基礎的表現を分析し、さらには、西欧の諸演劇と日本の演劇を比較することによって、その多様性と特質を理解する。各テーマについては、1回または数回の講義となる。

1. 宗教儀礼と演劇
2. 悲劇と喜劇
3. 能と「花伝書」
4. リアリズム演劇とスタニスラフスキー・システム
5. 歌舞伎と「虚実皮膜論」
6. 歌舞伎と新劇
7. オペラとミュージカル
8. 比較演劇論
9. 現代と演劇

【評価方法】

1. 期末のレポート
2. 授業時の小レポート
3. 授業時の平常点

左記3項による総合評価

【授業科目】 現代社会論	【担当者】 鍾 家新
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>われわれは二つの世紀の生活を経験する人間になる。21世紀の将来像は予測されにくい。しかし、全く予測できないものではない。21世紀は20世紀の社会遺産を継承・発展してゆく。20世紀＝現代社会の特徴は何か。現代人と現代社会との関係はどうであったか。個人はいかに現代社会のもとで生活し、適応してきたか。現代国家にとって人間は何か。本講義はこれらの諸問題の解決に役立つ知識と考えを提供することを目的とする。本講義では歴史社会学的視点と国際比較の手法を取り入れる。本講義の受講によって、学生たちは現代社会・現代人を分析する知識と考え方を身につける。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>【参考書】</p> <p>講義の中で必要に応じて参考文献を紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>授業ではつぎの諸テーマを取り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> I 現代社会の本質 <ul style="list-style-type: none"> ①現代社会の定義 ②現代と現代以前 ③国による異同 II 現代社会の面相（1）＝産業社会 <ul style="list-style-type: none"> ①現代社会の発展の原動力：現代産業構造の形成 ②現代就業構造の形成 ③産業社会と現代人の意識構造の変化 ④消費社会と情報社会 III 現代社会の面相（2）＝管理社会 <ul style="list-style-type: none"> ①「管理社会」のイメージ ②管理社会化の現象・形態 ③管理社会と現代人 IV 現代社会の面相（3）＝福祉社会 <ul style="list-style-type: none"> ①現代社会問題の構造（高齢化など） ②現代社会の社会運営原則の限界 ③福祉国家と福祉社会 ④社会保障制度の構造・特徴・問題点 V 総括 — 20世紀の特徴と21世紀への展望 <ul style="list-style-type: none"> ①国際社会化と国民国家のゆくえ ②20世紀の特徴：科学技術の進歩／二次世界大戦／社会主義化と失敗／福祉国家化 ③21世紀への展望：西洋文明の強み／東洋文明の試練 	
<p>【評価方法】</p> <p>試験と出席状況。</p>	

【授業科目名】 現代家族論	【担当者】 民秋 言
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>人類の歴史と共に古い、といわれる家族。この家族は今日の社会において私達の生活とどうつながりをもっているか。今日、いろいろな角度から家族がテーマとされるが、本講では「福祉」の視点から考えてみる。福祉すなわち「人間としての幸せ」は家族とどうかかわっているか、が主たるテーマとなる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>望月 嵩、木村 汎共編 『現代家族の福祉－家族問題への対応』 培風館</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 人間にとって家族とは何か － 家族は人類の歴史と共に古い集団といわれる。つまりわれわれ人間にとって家族は必須のものであったし、今後もそうであろう。人間が生きることとの関わりで「家族」の定義をする。本講では家族を「福祉追求の集団」とする。</p> <p>2. 家族のはたらき － 家族は基礎的集団といわれ、いろいろなはたらき（機能）を同時併行的にもつ。しかし今日の社会では、すべての機能が一律に求められているとは限らない。家族がもつどのような機能に注目すればよいか考える。</p> <p>3. 家族のタイプ － 家族という集団を形成し、それを拠点として生活するとき、そこにはさまざまな家族のタイプが生ずる。また社会全体がもつきまりやルール（規範）によって家族のあり方も規制される。どのような家蔵のタイプが望ましいか、考える。</p> <p>4. 家族のしくみ － 家族がもつ目標を達成するためにはそのしくみ（構造）が問題となる。役割構造と権威構造との2面から検討する。</p> <p>5. 家族と福祉 － 家族は福祉追求の集団であるとするとき、そこにはいくつかの課題が生ずる。 (1) 子どもの養育と家族福祉 (2) 母子家庭、父子家庭と家族福祉 (3) 高齢化社会における家族福祉</p> <p>6. まとめ － 今後、家族を形成するものとして、望ましい家族福祉の姿を考えてみる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテストを期末に実施</p>	

【授業科目】 日本国憲法	【担当者】 駒村圭吾
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】 日本国憲法について講義を行う。学説や判例の紹介もさることながら、人権意識の育成や、日本・世界で発生している社会問題への関心の啓発に力点をおきたい。</p>	
<p>【テキスト】 なし。</p>	
<p>【参考書】 何でも良いので、「六法」と呼ばれるもの一冊を用意されたい。</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 毎日、1回で完了するようにテーマを設定し、具体的な事例を通じて、憲法に対する基本的関心を育成する。</p> <p>(2) 例之は、外国人・公務員の人権、表現の自由の限界、政教分離、生存権と社会保障、生死の自己決定、天皇制、9条と国際平和、男女平等、など。</p> <p>(3) なるべく具体的かつ平明に語るつもりである、予習は不要であるが、毎回出席し克明にノートを取り、復習につとめてほしい。</p> <p>(4) 授業が開始されればお分りいただけると思うが、担当者は教室管理にともうるさい。受講態度の不良な学生については、たとえ初犯であっても、大学側の学則とは無関係に、退室を求め、以後の受講を拒否する場合がありますことはお断りしておきたい。学生諸君の相互的な自浄作用によって適切な学習環境ができることを希望したい。</p>	
<p>【評価方法】 学年末の記述式テストで評価する。 必要があれば、出席点を加味する。</p>	

【授業科目】 市民生活と法	【担当者】 武藤健一
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】 2年後あるいは1年後に、女性である皆さんが実際に社会に出てみて、女性として遭遇すると思われる事柄・問題について、法律という観点も加えて、自分の今後のこと・将来のことを考えるきっかけになるような授業にしたいと考えています。</p>	
【テキスト】 テキストは用いません（レジュメ配布）。	
<p>-----</p> <p>【参考書】 角田 由紀子 著 「性の法律学」（91年 有斐閣）、副田 隆重 他著 「ライフステージと法」（96年 有斐閣）の2冊をとりあえずあげておきます。</p>	
授 業 計 画	
<p>現代の日本では女性がどのような状況におかれているのかということ、</p> <p>1° 就職・労働、2° 恋愛・結婚・家族、という2本の柱を立てて、社会学的に、法学的に考察していきます。</p> <p>授業数がおそらく10回未満になるので、この2分野のみで終わってしまうと思いますが（昨年度は終わりませんでした）、時間があればSexualityの問題なども取り上げてみたいと思います。</p>	
<p>【評価方法】 昨年度同様に、学年末に試験を行ない、授業での出席点（・レポート点）を加味して評価をしたいと考えています。</p>	

【授業科目】 政治学入門

【担当者】 加地直紀

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

に本内外の具体的な政治現象を通じて、政治とは権力闘争であることを理解する。

【テキスト】

中村勝範編著『運命共同体としての日米と台湾』(展覧社、1988年)

【参考書】

授 業 計 画

本講義は、政治とは権力闘争であることを、以下の順に、具体的事例を通じて解説する。

1. 政治の二面性
利害調整と権力闘争
2. 国内政治
政治家、政党による権力闘争
3. 国際政治
国家による権力闘争
4. 東アジア情勢
日米台と中国との対立

なお、受講中の私語、飲食は厳禁である。

【評価方法】

- ① 平常点
- ② 学期末のレポート

【授業科目名】 生活の経済学	【担当者】 内山哲朗
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代日本経済を転換期ととらえ、「生活の豊かさ」の再把握という視点より、「経済の豊かさ」と「生活の豊かさ」の関連構造を検証しながら、「経済と生活」をつなぐ基本的論理について講義を進めていく。戦後日本経済の歩みとその問題点に目を配る中から、21世紀に向かう「日本の生活像」に関する基礎知識の修得をめざす。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>第一回の講義の中で指定する。</p>	
授 業 計 画	
<p>講義で取り上げるテーマは、以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生活把握の基本視点——労働・家族・地域—— 2 戦後日本経済の展開過程——時期区分—— 3 戦後日本の生活の変容 4 「豊かさ」とは何か——生活経済学の論理—— 5 「生活の豊かさ」と高齢社会 6 「生活の豊かさ」と環境問題 7 生活福祉の社会経済学——非営利・協同の経済セクター—— 8 生活福祉と社会政策 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業への出席と定期試験を総合的に勘案して評価する。</p>	

【授業科目名】 心理学入門	【担当者】 林 潔
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>心理学の基本的なテーマについて紹介します。 今回は、性格と性格形成、対人関係の問題が中心テーマです。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：なし 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 金子尚弘・神田信彦・倉澤寿之「最後まで読める心理学」 重野純「キーワードコレクション心理学」、金子隆芳「心理学フロンテア」、 大山正「心理学への招待」、北尾倫彦「心理学への招待」、</p>	
授 業 計 画	
<p>1.心理学のなりたち 心理学の流れについて</p> <p>2.幼児期と性格形成 VTRを利用します。</p> <p>3.意識と無意識：精神分析の人間理解(1) Freudの思想と精神分析の概説</p> <p>4 同 (2) libidoの役割とlibidoの発達</p> <p>6 同 (3) 防衛機制</p> <p>7 同 (4) 物語と夢の分析</p> <p>8 性格について(1) 基本的な性格論の紹介</p> <p>9 性格について(2) 性格理解の試みについて</p> <p>10 対人関係について考える</p> <p>11 人間の問題に取り組むために</p> <p>13.心理療法の役割</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点，中間試験，レポート</p>	

【授業科目】 マスコミュニケーション概論

【担当者】 瀬木博道

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】 現代はマスコミ支配の時代といえる。
マスコミとジャーナリズムの差違、「知る権利」の問題を考える
とともに、卒業後に役立つマスコミの応用面（広告、広報など）
にも目を向けてみたい。

【テキスト】 瀬木博道ほか著 「コミュニケーションからPR」電通

【参考書】 瀬木博道ほか著 「広報の基礎工」日経広告研究所

授 業 計 画

1. マスコミ・ジャーナリズム論

- マスコミとは何か
- ジャーナリズムとは何か
- 我が国ジャーナリズムの特徴

2. 知る権利

- 言論の自由と知る権利
- 言論の自由に関する自由主義理論と
社会的責任理論

3. マスコミ応用面

- 放送（テレビ・ラジオ）の問題
- 広報概論
- 広告概論

【評価方法】 出席状況、受講態度を参考にし、
期末試験で決める。

【授業科目】 自然科学史	【担当者】 柳下登
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】 人間は自然を理解する（科学する）ことで自己を変革し、より人間らしくなった。科学の歴史はヒトから人間化への歴史である。人間は古代から生命、広くは生物的自然に強い関心を持ち、それについての理解は紆余曲折を経て科学の姿を整えてきた。この講義ではそれぞれの時代の定説がより科学的な考えにとってかわった過程を追求することにした。そして、今日では生命科学の成果は生命操作の時代を迎えた。そこで、現代の生命科学をもとに確立したバイオテクノロジーと人間や社会の未来についての課題にも言及したい。</p>	
【テキスト】 プリントを中心におこなう予定。	
<p>【参考書】 新編自然科学入門（甲斐義幸）学術図書、科学思想のあゆみ（Ch. サンガー）岩波書店、科学の考え方・学び方（池内 了）岩波ジュニア新書、遺伝子の文明（フランソワ・グロ）丸善、近代科学の歩み（H. バターフィールド）岩波新書</p>	
授 業 計 画	
<p>1) 科学を成立させた人間の条件</p> <p>a. 森の生活者サル類がヒトをつくる b. 「木から落ちたサル」のサルばなれへの道 c. 四本足から二本足へ d. 道具が人間をつくる e. 生きること（生活）が自然についての理解を深める f. 道具で道具をつくる g. 定住と農耕 h. 技術が先か科学が先か</p> <p>2) 生き物の本質を求めて</p> <p>a. 古代における生命の「母なる大地」の考え b. アリストテレス生命の完成への目的 c. ヘルモントの自然発生説 v s パスツールの実験 d. 細胞（生命）あるものから細胞（生命）へ e. ラマルク：生物は段々と複雑になった f. ダーウィン：生物は共通の祖先から g. オパーリの生命の起源と「自然発生」説の復活 h. メンデルの遺伝の粒子説 i. ワトソン・クリックのDNAの2重らせん j. バイオテクノロジーの確立と人間、社会の課題</p> <p>3) 私の研究史：ピートン物語</p>	
【評価方法】 定期試験にかわる課題レポート。その他、自発的なテーマ設定の提出物を評価に加える。	

【授業科目】	生命の科学	担当者	小作明則
【開講期】	一年	後期	
【授業目標】	<p>21世紀を迎えようとしている今日「生物の多様性」の維持は地球上の生物環境をより安全な状態で維持していくための大きな課題である。この生物多様性を支えている「生命」について地球物理学、化学、進化生物学そして歴史的な理解を深め、さらに地球上における「人類」が抱えている今後の諸問題について概説する。</p>		
【テキスト・参考書】	<p>テキスト・参考書は特に指定しない。</p>		
授業計画			
<p>この講義では授業目標に掲げた内容を理解するためにおおよそ以下の各時間ごとのテーマに従って講義を進めていく。この講義は講義室での説明・板書だけが目的ではなく、できるかぎり実物を自分の目で見、手でさわり、バーチャルではなく五感を持って理解することを目的とした。</p> <p>以下に時間ごとのおおよその講義計画のタイトルを示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 太陽系と地球の誕生、物質の由来 2. 地球と水と生命の誕生 3. 地球型生物の特徴と進化 4. 分子生物学と生物進化 5. 植物と動物の分化と進化 6. 生物の存在と地球環境の変化 7. 脊椎動物の進化 8. 生殖方法の変化と動物進化 9. サルとヒト <p>以上を講義として行い、これ以外に博物館、水族館、動物園等さらに玉川上水の散歩を通し、実物を見ながら生命について考えていこうと考えている。</p>			
【評価方法】	<p>レポートあるいは筆記試験</p>		

【授業科目】 生物と環境	【担当者】 吉川研二
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人類は多くの生物たちから様々な恩恵を受けてきた。しかしこの多様な生物の世界は急激に失われつつある。その最大の原因は人類による生物の生息環境の汚染や破壊、資源の乱獲などである。多くの種の消滅は私たち人類の将来にかかわってくる。ヒトと生物とその生存環境を考える。</p>	
<p>【テキスト】 OUR STOLEN FUTURE 邦訳『奪われし未来』 1997.9 翔泳社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>今から30年以上前に、海洋生物学者のRachel L. Carsonは『Silent spring』で合成殺虫剤が自然界にもたらす危険性について警告した。その警告によって人類はどれだけ賢くなったのだろうか？知らないことが幸せなのか、知ることが不幸せなのか。</p> <p>授業は決して易しくはありません。幅広い基礎教養が要求されるはずです。今までの勉強がどれだけのものだったかが判ると思います。知る努力を惜しまず、共に考え続けていきたい。</p> <p>自然科学の世界 単位について 環境とは 生物の世界 生態系、その構造と機能 天然化学物質と合成化学物質 沈黙の春 環境汚染 内分泌攪乱物質 奪われし未来</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">平常点+筆記試験</p>	

【授業科目】 生活の科学	【担当者】 滝沢靖臣
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代における私たちの生活の進展は大きく、衣食住ならびに医薬品からコンピュータまで様々な物質に取り囲まれている。これらの物質を構成している原子や分子の世界に目を向けて、それらの特性を学ぶことにより、身近に起こっている科学的な現象を少しでもより正しく理解できるようになることを本授業の主眼としている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「物質とは何か」-化学の基礎- 東京教学社</p>	
<p>.....</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>物質の成り立ちを理解してから、それらの物質を通して私たちの身の回りの科学的現象が理解できるようにする。特に基礎知識がなくても理解できるように平易に解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活の中の物質科学を考えてみよう。 2. 身の回りにある水分子の世界を覗いてみよう。 3. 原子と分子と私たちの生活。 4. 原子はどのような構造をもっているのだろうか。 5. 物質をつくっている分子の構造は何により決まるのだろうか。 6. 物質の状態は何により決まるのだろうか。 7. 金属と超伝導とはどのような関係にあるのだろうか。 8. 酸は何故酸っぱく感じるのだろうか。 9. アルコールの正体は何であろうか。 10. 日焼けと日焼け止めと光化学反応。 11. 人や物質の老化は防げるか。活性酸素の化学。 12. 物質科学とエネルギー。 13. 物質科学からみた衣類、高分子化学の世界をみる。 14. 石油資源と石油化学を考える。 15. 21世紀の物質の世界を考える。 	
<p>【評価方法】</p> <p>試験、レポート、出欠により評価する</p>	

【授業科目】 健康の生理学	【担当者】 明渡陽子
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 1。健康の概念と健康管理活動の原理の理解 2。人体各器官の生理機能の理解 3。代表的疾患の成因を理解し、疾病予防や健康増進に必要な基本的知識の習得 ——生活習慣病と対策 4。女性の医学 5。健康管理の実際（血圧測定・体脂肪率測定）：自己測定を行い健康への関心を高める	
【テキスト】 シンプル 衛生公衆衛生学（改訂第6版）南江堂	
【参考書】	
授 業 計 画	
第1回 健康の概念 第2回 疾病予防と健康管理（I-1）：わが国の健康水準と健康増進施策 第3回 疾病予防と健康管理（I-2）：生活習慣病（癌・心疾患・高血圧） 第4回 疾病予防と健康管理（I-3）：生活習慣病（脳血管疾患・糖尿病・高脂血症） 第5回 疾病予防と健康管理（II）：健康管理法 （肥満・運動・ストレスと休養・飲酒・喫煙などの健康への影響） 第6回 健康管理の実際（血圧測定・体脂肪率測定） 第7回 女性の医学（I）（加齢と性機能・月経のしくみとホルモン） 第8回 女性の医学（II）（主な疾患の概要） 第9回 女性の医学（III）（性病・人工妊娠中絶と避妊法） 第10回 学校保健・産業保健 第11回 環境保健・母子保健・地域保健・ 第12回 感染性疾患（インフルエンザ・肝炎・AIDSなど） 第13回 成人・老人保健 第14回 保健医療制度と法規	
【評価方法】 出席点とレポート	

【授業科目】 宇宙と地球	【担当者】 猪郷久義
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現在の地球上の自然環境は46億年に及ぶ悠久の地球史がたどった古環境の一断面である。現代の地球観を通してグローバル規模の自然環境全般と、災害・資源・環境の科学としての地学を考察する。次いで宇宙の一構成員としての太陽系と地球の誕生を考察し、地球史の古環境を具体的に復元し、特に生物が関与してきた地球環境変遷史を探究し、今日の問題への関与について理解を深めると共に将来を展望する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>その都度適当なものを推薦する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現代の地球観（地球の姿、地球上に働く力、大陸移動説とプレートテクトニクス） 災害と防災の地学（地震とその予知、火山災害と恩恵、海水面変動、気候災害と気候変動） 資源の地学（鉱物資源、金属・非金属資源、化石燃料、資源の偏在性と将来性） 地球の環境変遷史（宇宙と太陽系の誕生、隕石の科学、地球の誕生と生命の起源、原始地球の自然環境、二酸化炭素と酸素の起源、先カンブリア時代の生物進化、多細胞生物の出現、無脊椎動物の発生と爆発的進化、進化の実験場、脊椎動物の発生と上陸、植物の上陸戦略、緑の大地の出現と石炭、古生代末の危機到来と生物大量絶滅、ジュラシックパークの自然環境、中生代末の危機と生物大量絶滅、哺乳類の繁栄、人類と氷河時代） 地学と人間生活（環境・資源・防災の地学と21世紀の展望）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と論述形式のテストを行い総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1 年 前期 (この科目は「通年」ですが、3人の教員が担当し、栗田担当分は前期前半です)	
<p>【授業目標】 総合科目人間【ヒューマニズムと現代】<u>全体</u>について</p> <p>☆ 1年間で3人の教員が担当する「総合科目」です。</p> <p>様々な発想・見解・学説がクロスオーバーする、本当に大学らしい知的刺激の場を目指します。「その1」～「その3」の3部に分かれます。</p> <p>☆ 【ヒューマニズムと現代】を統一テーマとして取り組みます。</p> <p>「ヒューマニズム」の問題性は？ 「現代」における人間とは？ 戦争や人権の問題は？ 以下3頁を見て下さい。</p> <p><u>その1ー【人間と「ヒューマニズム」】</u> (栗田担当分) については、下記の「授業計画」欄を見て下さい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布します。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じ、講義中に紹介します。特別に買う「義務」はありません。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>本学の「建学の理念」とされる「ヒューマニズム」を、 自由に考えてみよう!</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>「ヒューマニズムは間違っている！」</p> <p>などと言う人は、めったにいません。</p> <p>では、なぜ「ヒューマニズム」は「正しい」のでしょうか。</p> <p>「そんなの、アタリマエでしょ」では、</p> <p>「自分の思想」にも「学問」にもなりません。</p> <p>要するに、「世間の通念」に流されているだけ。</p> <p>——そういう「ヒューマニスト」は、実に簡単に、「ファシズム」にも流されてしまう(かもしれない)。</p> </div> <p>総合科目人間【ヒューマニズムと現代】の、その1(第1部)は、【人間と「ヒューマニズム」】の問題を、おおむね、以下の順に講義します。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>【1】 人間の条件——「私」とは誰か。</p> <p>……「死」に向かう存在。「独我論」の世界か、「私を生み出した世界」か。</p> <p>【2】 「他者」との出会い。</p> <p>……「どうにかせすにはいられない」のに「どうにもならない」人。</p> <p>【3】 人間の自己肯定——近代ヒューマニズムの「栄光と悲惨」</p> <p>……我々は、ほんとうに「しあわせ」になったか。</p> </div> <p>大きな問題ばかりですが、「明るく楽しく考えたい」と思っています。</p> <p>詳細は、講義の「空気」の中で、決めて行きます。</p>
<p>【評価方法】</p> <p>平常点とレポート。まじめに参加していれば大丈夫!</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 鍾 家新
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>中国の人口は世界の五分の一を占めている。現代中国の民衆を論じることは、現代社会の人間を論じることになる。本講義は、日中比較を通して、中国民衆の人間像 — 喜び・悩みなどを明らかにし、日本人と中国人の人間像の異同を探究する。ヒューマニズムの視点と国際比較の手法を取り入れる。本講義の受講によって、学生たちは人間、社会、外国を相対的に見るための知識と能力を身につける。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>鍾家新著『中国民衆の欲望のゆくえ — 消費動態と家族変動』新曜社、1999年。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>講義の中で必要に応じて参考文献を紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>授業ではつぎの諸テーマを取り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> I 中国の「一人っ子政策」と日本の少子化 <ul style="list-style-type: none"> ①中国の人口問題と「一人っ子政策」 ②日本の少子化 — 日本の人口政策の変遷 II 中国の家族構造の深層と日本の家族 <ul style="list-style-type: none"> ①中国の家族構造と伝統文化の深さ ②外国人が見る日本の家族構造の特徴 III 中国女性の社会的地位と日本女性の社会的地位 <ul style="list-style-type: none"> ①中国女性の社会的地位と「一人っ子政策」 ②外国人が見る日本女性の社会的地位 IV 中国民衆の「衣食住」と日本民衆の「衣食住」 <ul style="list-style-type: none"> ①中国民衆の「衣食住」 ②日本民衆の「衣食住」 ③消費社会化の収斂 V 21世紀アジア人のゆくえ <ul style="list-style-type: none"> ①アジア人としての意識の確立の難しさ ②われわれの課題 VI 総括 — 現代社会における人間の奮闘と苦悩 <ul style="list-style-type: none"> ①個人と国家との関係 ②人権・ヒューマニズムの重要性 	
<p>【評価方法】</p> <p>試験と出席状況。</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>ヒューマニズムと現代 その3 前期のヒューマニズムと人権に引き続き平和について考える。平和という言葉の定義も含め、平和であるとはどのような状態をいうのか、また、そうなるためにはどういった取り組みが必要であるかを一緒に考えてみたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>差し当たっては最も平和的でない状態、平和の対局にあると考えられる戦争について、発生のメカニズムやそれがもたらす災禍を具体的な事例に即して検証する。次いで、そのような状態を回避するための取り組みがどのように行われてきたかを検討し、過去、現在そして将来におけるその有効性について考える。また、そういった行動の背景となった近代の平和思想の歴史についても触れてみたい。</p> <p>次のようなテーマで話しを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇アジア・太平洋戦争と人・物・カネの総動員システム ◇現代戦争とゼロッサムの世界 ◇核被害の実情と核廃絶への挑戦 ◇平和憲法への道－近代の平和思想の歴史 ◇憲法9条を取り巻く現実 ◇「平和維持軍」が維持する「平和」とは何か ◇平和への課題－人権・福祉そして平和 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 総合英語 I - 1、2	【担当者】 新井紀代
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>聴解・読解の基礎力を身につけること。とにかく英語に慣れましょう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指定する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>◇聴解・読解の訓練を行う。</p> <p>◇毎回なるべく大勢当てる。</p> <p>詳しい進め方は開講時に説明します。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・授業参加・小テスト・期末テストを総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 総合英語 I - 1、2	【担当者】 長尾主税
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>リスニングとリーディングを中心に、基本的な英語運用能力の養成を目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>Your Ear for English (金星堂)、Culture Riddles</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>基本的なリスニングの練習を行い、平明な英語で書かれた文章を読む。 異国の文化的背景を知り、そこに描かれた問題が自国のものと実際に共通するものなのかどうか考察するだけでも、得るものは大きいと考えられる。たとえば、英語のロジックの展開の仕方を学べば、読み書きだけでなく聞き取りにも役立つことが理解されよう。また、平易な英文を読み、語彙をふやし、基本的な文法事項を修得することが、英語学習の妨げにならないことは言うまでもない。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末に行うテストの結果に、出席等の平常点を加えて評価する。</p>	

【授業科目】 総合英語 I-1、2	【担当者】 藤田久美子
【開講期】 1 年 前期 ・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>今まで6年間もの間培ってきた英語の力も、実際には十分に使いこなせないと感じている学生が多いだろうと思う。そうしたもどかしさを少しでも解消してもらい、1年の終わりには、英語への親近感が少しでも増してほしいと思っている。このクラスでは、リーディングを中心にして、英語の基本的な技能の獲得と向上を目指したい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>1) リーディング用テキスト・・・検討中 2) Your Ear for English (リスニング用)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>英語と聞くと“アレルギー的拒否反応”を示す人もいる一方で、“日常会話ぐらいはこなしたいけど・・・”という思いを抱いている人も相当多いように思う。また、好きなポップスや映画を原語で味わいたいと思っている人もいるであろう。</p> <p>しかし会話も聞き取りも、やはり基本的な語法を無視できないのは当然であるし、ある程度の語彙や慣用語句の知識も必須である。そこでこのクラスでは、比較的平易な英文を読むことを通して、基本的な英語の技能を再確認し、また高めていきたいと思っている。さらに、サブ・テキストとしてリスニング用のテキストを使う予定である。</p> <p>* 授業の進め方</p> <p>最初の30分程をリスニング練習に当てる。練習問題はその場で答え合わせをして、後で提出してもらおう。その後の時間をリーディングに当てる。音読の後、内容理解のための様々な問題に答えていく。演習問題の内のどれかを毎回必ず提出してもらい、リスニング演習と並んで、成績の重要部分とする。また、学期に2～3度の復習テストを行う予定である。</p> <p>リーディング部分については、十分な予習ができていることを前提にして授業を行うので、承知しておいて欲しい。学生と私と、共に作り上げていく授業なので、是非毎回の出席と積極的な授業参加をお願いしたいと思う。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状態、毎回の練習問題の結果、復習テストの結果、そして普段の授業参加度を総合して最終評価とする。</p>	

【授業科目】 総合英語 I - 1、2	【担当者】 藤田幸世
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>中学・高校で既習してきた英語の基礎知識を確認しながら、現在の自分に相応しい英語を学習することを目標とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業毎にプリントを渡す他は、必要におうじて紹介します。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業中に必要なときに紹介することにします。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>Q：これまで中学・高校で学習してきた『English』はどこ国のことばでしょう。イギリス語？アメリカ語？オーストラリア語？ニュージーランド語？アイルランド語？カナダ語？それともインド語？香港語？</p> <p>英語は国際語として様々な国でいろいろな社会階層の人達に使用されています。日本でも教科の一つとして英語が広く学習されていますね。でも同じ日本人の私達が学校で学習するのは教科としての「英語」です。私達のように日本人が外国語として English を学習する場合と香港の人が第二言語として English を学習する場合、またはイギリス人が母語として English を学習する場合、いろいろな『English』があつて当然です。このさまざまな顔をもつ『English』をいろいろ味見しながら、後期のレポートには一人一人の人が上の質問に答えを考えられるようにしようというのがこの授業の目的です。</p> <p>教材はテキスト・参考書はプリントで、授業にはビデオも使います。毎授業でビデオを見ながら、語彙の聞き取り、内容についての質問などを行ない、とくに授業中に自分の考えをたとえ間違つていても自信をもって皆のまえで話す努力をしてほしいと期待します。必要なことは随時相談しながら決めてゆくつもりです。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点と期末レポートを併せて評価を出します。</p>	

【授業科目名】 選択語学 1-1, 2 (リーディング)	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 前期・後期	
【授業目標】 1. 英語を楽しく学ぶことを通して身につける 2. 英語を通して英米をはじめとした文化を学ぶ	
【テキスト】 必要に応じて指示する	
【参考書】 「MUSIC & SONG」(Tim Murphey:オックスフォード大学出版)	
授 業 計 画	
<p>前期後期とも英米人の文化を表現している英語の文や歌に焦点を当てて、その内容を読みとりながら語法や表現等についても学ぶ。音声面についても意味内容の表現にどのように関連しているかを分析してみたい。同時に現代社会や世界について同時代の人たちがどう考え、どう生きているかを学ぶ。</p> <p>なお英米以外でも英語の歌は存在しているので研究してみたい。</p>	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 選択語学 I - 1、2 (オーラル)	【担当者】 スワン, W, ローレンス
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>このクラスでは、学生がすでに習った文法、言葉の知識を土台にして会話が進められるように指導していく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">ありません</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>いろいろな分野で使われる言葉の練習もする。このクラスでは英語を使ってのコミュニケーションに重点をおき、文法にはそれほど力点を置かない。話したり、聞いたりする力を身に付けさせるために、対話の練習、スキット作り、テープの聞き取りをする。</p> <p>以下のような項目にそって進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. friendly greetings 2. making choices 3. misplacing and looking for things 4. using things 5. talking about accidents <p>注：このクラスを取る学生は全部のクラスに出席すること。理由のいかんにかかわらず、欠席は認めない。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>成績の基準はクラスでとれだけ積極的に参加するか、中間と期末試験（ドラマ作り）を元に付ける。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅰ－1、2（オーラル）	【担当者】 森田眞澄
【開講期】 1 年 前期 ・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語のリスニング能力及び話す能力を中心に向上させる。</p>	
<p>【テキスト】 .First Time Abroad--初めての海外旅行-- 成美堂</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>テキストと共にビデオを併用し、視覚から入る情報の助けを得ながら、英語の基本的会話を習得する。</p> <p>英語は、「コミュニケーションの手段である」という事を、常に頭に置き、多少の文法的間違いは気にせずに、活発に声を出して頂きたい。</p> <p>辞書は授業中に使用して良いが、必ず予習をしてから、授業に出席する事。</p> <p>この授業において予習とは、DIALOGの全般的な意味(何が話題となっているのか)を把握しておく事、わからない単語、熟語、表現等を辞書を使って調べておく事、又、調べても理解できない個所を授業中に質問できる様に準備しておく事、等である。</p> <p>前期、後期共に、3分の2以上授業に出席しないと、単位取得はできない。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>毎週行なう小テスト---80%</p> <p>授業への参加度----20% 以上の2点で評価。</p>	

【授業科目】 選択語学 I - 1、2 (オーラル)	【担当者】 清野茂子
【開講期】 1 年 前期 ・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の中の「聞く」「話す」力を特に中心にして、基本的英語運用能力の養成を目標とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>Screen Vocal Listening Kinseido... ¥ 1200</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>世界的にヒットした映画音楽15曲をもとにして hearing and pronunciation の練習をします。 毎時間の作業を重視しますので必ず出席すること。 また 具体的な日常レベルの会話の練習も入れる予定。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学 I - 1、2 (リーディング)	【担当者】 清野茂子
【開講期】 1 年 前期 ・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>速読を中心に hearing を加えて、基本的英語の運用能力の養成を目的とします。</p>	
<p>【テキスト】 Nature and the Environment Seibido...¥ 1700</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>21世紀を目前にして 今、世界中で直面している環境問題について、一年を通して学び、その問題点を認識していきたいと思います。 授業に出席する前に必ず reading の文は読んでくること。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅰ-1、2 (リーディング)	【担当者】 磯山滯一
【開講期】 1 年 前期 ・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>比較的短かくて平易な英語の物語、小説、伝記などを多読し、英文を読む楽しさを体験することで、読む力を伸ばしたり表現力を高める。また読みとった内容が人生を考える糧となるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>前期</p> <p>Chirtmas Present (O. Henry: retold)</p> <p>Tom as King (Mark Twin: retold)</p> <p>No Safe Was Safe (O. Henry: retold)</p> <p>Human Comedy (William Saroyan 一部)</p> <p>後期</p> <p>Little House in the Big Woods (Laura Ingalls Wilder 一部)</p> <p>Runaway Slave: The Story of Harriet Tubman (Ann McGovern)</p> <p>Told by the Schoolmaster (J. Gawlsworthy: retold)</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>テスト、小レポート、出席状況などを総合して評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅰ-1、2 (リーディング)	【担当者】 東郷 裕
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>ある程度の長さの英文を精読し、内容を理解しながら読んでいく訓練をする。また同時に、短編小説のもつすばらしさと楽しさを味わえるようにしたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>The Strawberry Season & Other Stories(苺の頃) (成美堂)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>基本的には訳読を中心とする。最初は時間をかけて文章を読んでいくが、徐々に読む速度を上げていき、最終的にはあまり時間をかけずに一遍を読むことができるようにしたい。また文法的な解釈および説明はできるだけ省き、必要最小限に留めておく。予習はあらかじめ指定する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期テストと日ごろの提出物によって評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学 I - 1、2 独語	【担当者】 田中安行
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
【授業目標】 1. ドイツ語の基礎を学ぶ、簡単な会話と文法、表現の仕方などの基礎を得させる。 2. 現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語とドイツへの親しみを増すようにする。 3. ドイツの歴史や文化と社会に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。	
【テキスト】 田中安行他著「ドイツへ行こう」三修社、1998年 ドイツ語辞典については開講時に説明する。	
【参考書】	
授 業 計 画	
1. 音声訓練――ビデオ教材やテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解できるような訓練を行う。 2. 音声表現――教材の重要表現を習得して、音声による自己表現もできるように学習する。 3. ドイツ語による会話――会話を学びながらドイツ人の生活や考え方などを理解する。 4. ドイツ語の文構造理解――ドイツ語会話の文を元にしてドイツ語の文構造と文法を理解する。 5. 文化理解――ドイツ文化およびドイツの歴史や現状に対して正しい知識と認識を得る、ドイツの詩や歌も学んでドイツ人の感情も理解する。 6. 文章理解――辞書の使い方を学びながら、やさしいドイツ語の物語を使って、文構造の理解をすすめ、さまざまなドイツ語の文に慣れていくようにする。 [授業方法] 1. 毎時間前半は簡単なドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。 2. やさしい会話表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツ文化を理解する。 3. 会話文の練習問題を行って、その文を分析してドイツ語の文構造のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から積極的に発見して身につけて使えるようなものにする。 4. ドイツの地理、歴史、文学、音楽などの資料（ビデオ・スライド・写真など）を使って自分たちでさまざまなものを発見出来るような学習活動をして、ドイツの歴史や現状に対して正しい知識と理解を得る。 5. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 6. 小グループを作っていつもそれを中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、なごやかな雰囲気ですたした学習ができるようにする。	
【評価方法】 ぶだんの学習状況などの平常点とレポートおよび会話および筆記試験で行う。	

【授業科目】 選択語学Ⅰ－Ⅰ、Ⅱ 独語	【担当者】 川口眞理
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>ドイツ語の日常表現を理解し、また自分で言えるようにするためにはドイツ語の基本的なしくみを知ることが大切です。</p> <p>川口のクラスでは文法の基礎をゆっくりと学んでいきます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『ドイツへ行こう』（Nach Deutschland） 田中安行著 三修社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>前期：文字と発音の関係、動詞の人称変化、名詞・代名詞の格変化 語順、数詞。</p> <p>後期：定冠詞類・不定冠詞類、前置詞、話法の助動詞、分離動詞 zu不定詞 他。</p> <p>語学はとにかく慣れること、身につけることが大切です。</p> <p>予習をする必要はありませんが、授業でやった表現、語彙は確実に身につけていくよう努力してください。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席、小テスト、期末試験の結果を総合的に判断します。</p>	

<p>【授業科目】 選択語学 I - 1、2 仏語</p>	<p>【担当者】 村山知恵</p>
<p>【開講期】 1 年 前期 ・ 後期</p>	
<p>【授業目標】</p> <p>新しい言語としてのフランス語の発音や文法をきちんと学び、同時に、フランス語を通して、フランスの文化や歴史を楽しく学んでいきましょう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「モン フランセ」：数藤 ゆきえ、酒井 由紀代著：駿河台出版社</p>	
<p>.....</p> <p>【参考書】</p> <p>《Bienvenue en France》：ビデオ教材</p>	
<p style="text-align: center;">授 業 計 画</p>	
<p>月曜日 1 時限：文法の教科書をもとに、フランス語の発音、文法を練習習得していきます。</p> <p>月曜日 3 時限：ビデオ教材を使って、目から、耳からフランス語に親しみ、楽しく学んでいきます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>前期、後期に期末試験によって、評価します。</p>	

【授業科目名】 選択語学Ⅰ 海外語学研修

【担当者】 中島好伸

【開講期】 1年夏期集中（前期5回の事前指導を含む）

【授業目標】

イギリス、リーズ市に3週間ホームステイし、メトロポリタン大学の語学研修プログラムに参加しながら、日常生活の英語に慣れ、積極的にネイティブ・スピーカーとコミュニケーションできるようにする。また、イギリスの文化に直接慣れ親しむ。

【テキスト・参考書】

事前指導にて指示します。

授 業 計 画

この科目は、保育科、福祉援助学科の総合英語2単位、心理学科、教養科の選択語学Ⅰの2単位の振り返ることができます。

前期に5回（その他出発直前に1回）、渡航すべてに関わる事前指導を行います。

- ・パスポートの取得
 - ・渡航手続き
 - ・イギリスの文化的知識の習得、現地生活に関するアドバイス
 - ・基本的な英会話
- （事前指導等の連絡は教務掲示板を注意してみることに）

英国リーズ市でホームステイし、リーズ・メトロポリタン大学の語学研修プログラムに3週間参加します。現地の授業は、ネイティブ・スピーカーによる小人数クラスで行われます。

- ・期間8月5日～8月30日（予定は変更になることもあります）

8/5 成田出発→ロンドン・ヒースロー着 ロンドン泊
8/6 ロンドン市内観光 ロンドン泊
8/7 ロンドン→リーズへ移動 ホームステイ開始
8/9～8/26語学研修
8/27 リーズ→ロンドンへ移動 ロンドン泊
8/28 ロンドン市内観光 ロンドン泊
8/29 ロンドン・ヒースロー→ 8/30 成田着

帰国後、反省会を行います。

【評価方法】

事前指導、語学研修の参加（修了証獲得）と帰国後のレポートにて評価

【授業科目名】 スポーツA テニス	【担当者】 岡田光弘
【開講期】 1 年 前期	
【授業目標】 * 練習の仕方、試合の仕方、観戦の仕方などを、 段階的に技術を学んでいくなかで、習得すること * 自分たちだけで試合ができるようになること	
【テキスト・参考書】 特に指定しない	
授 業 計 画	
<p>自分たちだけで試合ができるように、以下の順で進行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミニゲーム 2. ドリル 3. ダブルスでのゲーム 4. タイブレイク形式でのゲーム <p>以下の技術についての基礎練習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボレー 2. ストローク 3. サービス 	
【評価方法】 ・ 技術、態度、知識（小テスト）を評価する。	

【授業科目】 スポーツA (バドミントン)	【担当者】 松岡由紀子
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツをすることによって、運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。 ・運動技能と知識の習得。 	
【テキスト】	
<p>.....</p> 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>技能練習とゲーム</p> <p>【バドミントン】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、グリップとシャトル慣れ 2、ストロークの練習 3、サービスの練習 4、集団技能の練習 5、ゲームとルール、審判法 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（出席重視）とゲーム中に採点</p>	

【授業科目名】 スポーツA (バレーボール)	【担当者】 村田 務												
【開講期】 1年 後期													
【授業目標】 バレーボールの技能及び体力の向上をめざすとともに、運動の習慣化をはかる。 ・ 個人的技能及び集団的技能 ・ 技能の程度に応じた練習法 ・ 審判法及び指導法													
【テキスト・参考書】 参考書 西川順之助 : バレーボール、成美堂、1995年。 斉藤秀明監修 : バレーボールルールブック、有紀書房、1995年。													
授 業 計 画													
<p>科学技術の進歩や経済の成長、社会構造の変化に伴い、運動の不足や食行動の偏り、精神的ストレスの増加など、健康に悪影響を及ぼす様々な問題が生じている。このような状況の中で、注目されているのが生涯体育（運動及びスポーツ）である。適切な身体活動は、疾病の予防や健康増進に寄与するだけでなく、生き甲斐や自己の確立など質的な生活の向上を可能にする。バレーボールは、場所や設備、体力的側面からみて、比較的容易に継続して活動することが可能なスポーツである。</p> <p>授業では、これらの観点から、将来にわたってバレーボールが続けられるように、「楽しい授業」、「技術の向上がわかる授業」、「自ら創りだす授業」をめざしたい。</p> <p>学習内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">① 個人的技能</td> <td>・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング</td> </tr> <tr> <td>② 集団的技能</td> <td>・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ルールづくり</td> </tr> <tr> <td>③ 指導技術</td> <td>・ 技術指導法 ・ 体力トレーニング法 ・ 審判法</td> </tr> </table> <p>授業の流れ</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">① 全体活動</td> <td>・ 共通課題の解決</td> </tr> <tr> <td>② グループ活動</td> <td>・ 班別課題の練習と解決 ・ 指導法、練習法の習得</td> </tr> <tr> <td>③ ゲーム</td> <td>・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得</td> </tr> </table>		① 個人的技能	・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング	② 集団的技能	・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ルールづくり	③ 指導技術	・ 技術指導法 ・ 体力トレーニング法 ・ 審判法	① 全体活動	・ 共通課題の解決	② グループ活動	・ 班別課題の練習と解決 ・ 指導法、練習法の習得	③ ゲーム	・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得
① 個人的技能	・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング												
② 集団的技能	・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ルールづくり												
③ 指導技術	・ 技術指導法 ・ 体力トレーニング法 ・ 審判法												
① 全体活動	・ 共通課題の解決												
② グループ活動	・ 班別課題の練習と解決 ・ 指導法、練習法の習得												
③ ゲーム	・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得												
【評価方法】 平常試験（平常点、実技等）													

【授業科目】 スポーツA (ダンス)	【担当者】 松村朋子
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>エアロビクスダンスをアレンジしたコンビネーションの習得で、まずはダンスに親しむ。そして、用具を使わず、自分のからだだけで運動でき、更に、芸術的センスを磨くことのできるダンスを通じて、楽しみながら美しい身体をつくり、運動機能を高めることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>使用しない</p>	
授 業 計 画	
<p>1. ストレッチ 身体全体を使って、自由に動けるように柔軟性を高める。 普段はあまり使わない筋肉を意識的に動かし、気持ちもダンスへ切り替える。</p> <p>2. コンビネーション サイドステップ、スキップ、走る、ジャンプなど簡単な動作を組み合わせた短いコンビネーションを習得する。 短いコンビネーションのいくつかを繋げて踊ってみる。</p> <p>3. ダンスプログラムの習得 コンビネーションを組み合わせて構成されたプログラムの振付けを覚える。 二人組やグループでフォーメーションを考えて、変化をつけてみる。</p> <p>4. ダンスプログラムの作成 今まで学んだ基本的なステップをどこかに使って、短いプログラムを創る。 全員で同じように踊るところと一人ひとりが動くところ、速い動きとゆっくりの動き、など変化に富んだ流れとなるように、グループで振付け・構成を考えて、発表する。</p> <p>*運動可能な服装・シューズで授業に出席すること。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と授業態度を特に重視する。実技テストを行う予定。</p>	

【授業科目名】 スポーツB（キャンプ）	【担当者】 村田 務
【開講期】 1年 前期（集中）	
【授業目標】 自然環境の中での集団活動を通して、健康的な生活を営むための能力と態度を養う。 ・野外活動に必要な知識と技能及び判断能力 ・健康的な「こころ」と「からだ」 ・自然を親しみ愛好する態度と野外活動への参加意欲	
【テキスト・参考書】 参考書 横山正幸、森本精造：教育キャンプ入門、北大路書房、1993年。 清水ケンゾー：楽しいアウトドア・ライフ、日東書院、1995年。 小菅知三：キャンプ大全集、成美堂、1990年。	
授 業 計 画	
<p>生活の場から自然が失われ、自然との共存が課題となってきた今日、自然を活用した野外活動は、健康の増進やレクリエーションとしての効果が極めて大きい。しかし、野外での活動は、さまざまな自然的環境の影響を受けやすく、事故災害にもつながりやすい特性をもっている。</p> <p>そこで、この授業では、特に、自然環境にふれ合うことの楽しさや喜びを十分に体験するとともに、野外活動における適切な判断能力や将来に向けての意欲が得られるように留意して計画、実施する。</p> <p>1、日 程 1996年 6月下旬、7月下旬 事前活動（学内） 8月4日（水）～ 8月7日（土） キャンプ実習（現地） 8月8日（日） 事後活動（学内）</p> <p>2、場 所 学内及び「山のふるさと村キャンプ場」（東京都奥多摩町）</p> <p>3、参加者 学生24名、教員3名</p> <p>4、内 容 ①事前活動：運営組織・装備・食事等の計画・準備 ②キャンプ実習 第1日目：テント設営、水遊び、食事 第2日目：登山（ハイキング）、食事 第3日目：ネイチャートレイル、木工、キャンプファイアー、食事 第4日目：食事、テント撤収 ③事後活動：装備の点検・補修、反省評価</p> <p>5、費 用 約10,000円（食料費、交通費等）</p>	
【評価方法】 平常試験（レポート、実技等）	

【授業科目】 健康科学	【担当者】 池森隆虎
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代社会における健康問題について幅広い知識を身につけ、氾濫する健康情報、流行に対して真偽を的確に判断する能力、それを活かすことのできる応用力を備えられるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>未定</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考図書、文献等は講義のなかで紹介していく。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. あなたの両親は大丈夫？（そういうあなたにも...） －成人病の予防と対策－ 2. 薬をじょうずに使いましょう。 －薬の有効な利用法、問題点－ 3. スマートな健康美人になろう！ －ダイエットの方法、問題点－ 4. 楽しい海外旅行をするために（「何とかなるさ」じゃ..）。 －海外での健康問題、安全対策－ 5. 他人事？エイズや性病について考えよう。 －性感染症の現状と予防－ 6. 人が苦しんでいます...その時、あなたは何ができますか？ －応急処置法－ 7. 運動は健康にいいの？ －運動の問題点、障害、活用法－ 8. 世の中が変われば病気も変わります。 －現代病、新しい健康問題－ <p style="text-align: right;">（順不同）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>小レポート（不定期）と試験</p>	

【授業科目名】 スポーツ科学	【担当者】 岡田光弘
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツを見て楽しめるようになること、 <li style="padding-left: 2em;">スポーツをしてみたいくなること ・ スポーツを社会現象として、批判的に見る眼を養うこと 	
【テキスト・参考書】 <p style="text-align: center;">AERA NOOK「スポーツ学のみかた」朝日新聞社</p> <p style="text-align: center;">日本プロテニス協会編「テニス教本」スキージャーナル 1994</p>	
授 業 計 画	
<p style="text-align: center;">以下のようなトピックを扱う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツと科学：スポーツ科学の全体像 2. ジャンプ競技と揚抗比 3. ポブスレーとクロストレーニング 4. スポーツの技術・道具の変化と科学 5. 滑降競技と乳酸 6. 滑降競技と環境問題 7. ドーピング問題と日常生活 8. スポーツとアイデンティティ：ラクロス、カーリング 9. スポーツとルール 10. スポーツと遊び 11. スポーツ解説と分析 	
【評価方法】 <p style="text-align: center;">各時間ごとの提出物と期末のレポートで評価する。</p>	

專門教育科目（1年）

【授業科目】 教養演習 I

【担当者】 東 喜望

【開講期】 1年 前期・後期

【授業目標】 <文芸の起源と発展>

このゼミでは、昨年にひきつづき、上記のテーマで研究を進めます。つまり、現代とはちがって、自然を畏れ、苟いながら生きていた時代の人々が、<謡い><語って>いた原初の「文芸」とはどのようなものであったか。また、それが、個人レベルから共同体レベル、さらに国家レベルへ発展するどのような形態の文芸になっていったかを、資料に基づき検討します。

【テキスト】 拙著『南島研究』(おうふう社)・資料プリント・映像資料・録音テープなど。

【参考書】 『古事記』(角川文庫)

授 業 計 画

資料は殊に日本列島の辺境の伝承や古代の文獻(記・紀)などを用います。ゼミは各課題を班別に分担して、研究し報告しながらすすめます。おおよそ、下記のような順序ですすめます。

1. 準備講義——こゝはの芸術としての文芸・その生成と形態
----- 呪禱・謡い・語り

2. 映像資料の鑑賞

3. 研究課題

(1) 東北の伝承歌

(2) 奄美の掛歌

(3) 歌垣と祭祀

(4) アニミズムと民話

・東北の座敷ワラシ

・南島のキジムナーほか

(5) 共同体の神と叙事歌謡——アイヌのユークラ

(6) 沖縄の英雄叙事歌謡(アマゴ)

(7) ヤマト(大和)の英雄叙事詩

—— ヤマトタケル(日本武尊)

—— 吉備津彦と鬼の城(桃太郎伝承)

【評価方法】 ゼミへの参加・研究態度・報告(発表)内容。

ゼミ 言式験またはレポート

【授業科目名】 教養演習 I	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】 『源氏物語』を研究する。大部な作品で、総体を理解するのは容易ではないが、一年次では、本来短編的な巻々として書かれたとも推定される第一部（桐壺巻～藤裏葉）に取り組む。物語に敷設された人間関係・権力構造の大要を理解することが第一目標である。そのなかで、紫のゆかり系統と玉鬘系統の並立構造に目を向け、この二重構造の意味について考えながら、六条院体制の完成までの道筋を辿ることにしたい。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト、参考書については、最初の授業で指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>〔前期〕</p> <p>最初は、物語成立の背景や梗概について、ビデオなどを用いながら説明する。（全く初めての人には、“あさきゆめみし”を手掛かりにするのもよい）。</p> <p>次いで最も接近しやすい方法として、第一部に登場する人物の中の一人に注目し、その行動と心理を追う。系図上の位置、すなわち身分関係が決定的に重要なので、絶えず確かめながら進めたい。各自自由に調べて輪番に報告し、質問討議を重ねる。</p> <p>〔後期〕</p> <p>前期のゼミで、ばらばらに取り上げられた人物について、相互の関係をつけていく。そのために、「柵（賢木）」の巻を読んでいく。</p> <p>繰り返すが、『源氏物語』の全体像をつかむのは簡単ではない。が、得るものは大きいはずである。各休暇ごとに課題を出し少しずつ積み重ねていくので、頑張ってついてきてほしい。</p>	
<p>【評価方法】 定期試験時レポート・課題レポートによる。</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅰ	【担当者】 栗田 廣美
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】 ——1年次の目標</p> <p style="text-align: center;">近代文学の名作を多読し、魅力を実感する。</p> <p>まず、「自由で素直な読み」と、個性的な「自分の中に広がるイメージ」を大切にします。小説は、もともと「どう読もうと自由」なものであるからです。その中で、文学の魅力を「より深く味わえる力」を養い、「研究」の土台を作ります。</p>	
<p>【テキスト】 「教科書」は用いない。</p> <p>ゼミの進行にあわせて、順次、指定された本（安価な文庫本）を購入する必要がある。</p>	
<p>【参考書】 必要に応じ、演習中に紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1 今まで文学作品を多く読んで来た学生も、ほとんど読んで来なかった学生も、栗田ゼミに入ったら、<u>「読書続ける毎日」を覚悟する必要がある</u>。文学研究の第一の土台は、「読むこと」「読むこと」「読むこと」。——「読書力」は、豊かな「読書量」によって成長する。</p> <p>「今まで読んで来なかったから」などと、心配することはない。<u>意欲さえあれば、十分について来ることができる。意欲と決意が大切。</u></p> <p>2 初めのうちは、僕（栗田）が、ていねいに「紹介＝解説」するが、しだいに、学生諸君自らが、作品について「語れる」ようにする。</p> <p>文学研究の第二の土台は、自ら受けとめた作品のイメージや作品の魅力、問題点を「しっかり把握する」ことであり、また、他の学生の「読み」から刺激を受け、自分の「読み」を深めることである。</p> <p>3 課題とする作品は、「文学・フィクションと人間」講義、「小説の世界」講義、「比較文学」講義、来年度の「近・現代の文学」講義でとりあげる作品を中心とする（それぞれの頁を参照せよ）。——したがって、栗田ゼミの学生は、これらの講義を受講せねばならない（資格取得等の関係上「受講不可能」な学生には、特別の手当をする）。</p> <p>また、上記講義関連作品の他にも、日本近代文学の名作を中心に、ゼミ独自の読書課題を設定する。どれも短大生としてぜひ読むべき作品。</p>	<p style="text-align: center;">近代文学の名作を たくさん読む。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">はじめの内は、 僕（栗田）の解説が中心。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">しだいに、自らの「読み」を 語れるようになる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">すると、 「ああ、そうだったのか!」と、 作品の新たな魅力が見える。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">文学・芸術の豊かな世界が、 自分のものになる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">2年生へ 「文学研究」の力をつける。</p>
<p>【評価方法】 平常点を主に、筆記試験（ノート、書物等、何でも参照可）を加味する。ゼミに<u>真面目に参加し、努力して読み続ければ、大丈夫、「A」は確実!</u></p> <p style="text-align: center;">ダラダラ怠けてしまえば、結果は悲惨↘</p>	

【授業科目名】 教養演習Ⅰ「日本芸能文化史」Ⅰ【担当者】高橋秀雄

【開講期】 Ⅰ年 前期・後期

【授業目標】 日本の芸能文化はそれぞれの時代の中心を占めて特色のある表現を完成し、人びとの圧倒的な支持を受け成り立ってきた。
この芸能文化の流れを追うとともに、各時代の特色を洗いあげ、海外からの影響を分析し、現代の芸能文化をも探究する。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書：各種芸能文化関係書(その都度指示する)

授 業 計 画

芸能は宗教儀礼に発したとされており、その祈りの庭の中でさまざまに展開し、祭りの饗宴の芸能として成立するようになった。そして、非日常的な身体的行動は、やがて音楽的、舞踏的、演劇的な表現を生み出すことにより、人びとの生活の中の娯楽として定着し、マシには洗練された舞台芸術としても鑑賞されるようになった。
これらの芸能文化の変遷を辿りながら比較研究を進め、芸能文化の本質を探究する。

1. 古代から現代までの芸能文化の課題を設定
2. 課題の内容を分担して調査、研究
3. グループによる報告、討論
4. 研究の結果のまとめ

【評価方法】

1. 演習時のレポート
2. 演習時の平常点

} 左記2項による総合評価

【授業科目名】教養演習Ⅰ	【担当者】瀧口 優
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英米児童文学研究を通してこれからの人生をどのように生きていくべきかを考える。 2. 友人や家族、愛や人間の生きる意味や、社会、自然、環境などさまざまな問題に触れる。 3. 望ましい子ども観とは何かを具体的な作品を読みながら考える。 4. 英米をはじめとした児童文学の歴史を学び、子どものための文学がどう発展してきたかを学ぶ。 5. 最近多くの児童文学が子どもだけでなく大人にも読み直されている意味を認識する。 	
<p>【テキスト】</p> <p>定松正「英米児童文学の系譜」こびあん書房</p>	
<p>【参考書】</p> <p>百々佑利子「児童文学を英語で読む」岩波ジュニア新書 タウンゼント「英米児童文学の歴史」岩波書店</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに英文で作品を読みながら「子ども観」について考える。 2. 英米児童文学のあゆみを調べながら代表的な作品について考える。 翻訳による作品も多く読んで、毎回レポートする。 3. 各自の研究対象となる作品を選び、原文で読み始める。 4. 原文の読みはきめ細かく行い、自分の感性と理解力によって問題点を発見していく。 5. 各自が発見した問題点を出し合って討論しながら、様々な角度から問題を深く追求していく。 6. ゼミでは発表や討論が重要なので、各自が毎回、問題意識をもって参加することが要求される。 7. 2年生の卒業レポートへの準備としてカード作成の方法や参考文献の調べ方なども学ぶ。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行う。</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅰ	【担当者】 平賀 明彦
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の近代について書かれた文献を一緒に読み、疑問点や意見を交換しながら、それぞれの持つ近代イメージをさらに豊富化することを目標にする</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>メンバーが確定したところで相談して決める</p>	
<p>.....</p> <p>【参考書】</p> <p>多数あるので逐次紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>幕末・維新の動乱から敗戦までの時期について書かれた文献を輪読し、分担を決め報告してもらおう。近代の歴史の流れをダイナミックにつかむことが重要であり、そのために必要な歴史的事実についての最低限の知識が得られれば良い。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>毎回の報告と時々的小レポートによって評価する</p>	

【授業科目名】 教養演習Ⅰ	【担当者】 中島好伸
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英米文学を多数読み、英語圏のものの考え方、社会的背景を学習しながら、英米文学の流れを理解する。また、部分的に英語にも触れ、英文の読み方も身につける。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>開校時に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1年次は、英文学を中心に翻訳を月に1冊ずつ読み、英文学の歴史、特徴を垣間見ることにする。(2年次には、アメリカ文学へ広げていく。)</p> <p>1年次の後期は12月の第2週までゼミナールができないため、次のようなスケジュールで進める。</p> <p>・前期 次の4人のイギリス作家(作品)を取り上げ、まずはイギリス文学作品の雰囲気味わう。 4月:シェイクスピア『ハムレット』 5月:エミリー・ブロンテ『嵐が丘』 6月:トマス・ハーディ『ダーバヴィル家のテス』 7月:D.H.ロレンス『チャタレー夫人の恋人』 (テキストは各自で用意すること) 毎時間、作品の一部分を英語で読むことによって(シェイクスピアは17世紀の英語だけにちょっと難しい)、英語を読むこつも身につけたい。</p> <p>・後期 前期の内に英文学の代表的な作家・作品リストを配るので、その中から一人選び、その作家について徹底的に研究してもらう(もちろん前期にやった作家でもかまわない。特に「イギリス語学研修」に参加するものは、リーズ近郊に『嵐が丘』の舞台がある)。その成果を原稿用紙20枚(英語でも可)にまとめ、12月の第2週に提出。その後の12月、1月のゼミで討論する。</p> <p>2年次には、アメリカ文学作品を取り上げる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートとゼミ内発表に、出席平常点を加味して評価する。</p>	

【授業科目】 教養演習 I

【担当者】 井野上真弓

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

少子・高齢化の進む 21 世紀における男女のあり方と、これからの望ましい女性の生き方を探る。

【テキスト】

『女性情報』『東京の女性白書』『図表で見る女の現在』等。

【参考書】

参考書は授業を進める過程で紹介する。

授 業 計 画

現代女性論ゼミ (I)

「男女は平等になっていますか。」「女性であることで差別されたり、イヤな思いをしたことはありませんか。」これらの質問に皆さんはどう答えますか。

今日は「女だから」「男だから」という理由で学校や家庭で差別を受けることは少なくなっています。しかし、男女は本当に平等になっているのでしょうか。不況下での女子学生の就職は厳しく、結婚後も家事・育児と職業との両立の難しさに悩むなど、女性が能力を発揮し、一人の人間として自立して主体的に生きることは困難な状況にあります。そこでこのゼミでは、人生のパートナーである女性と男性がともに人間らしく豊かに生きていくためにはどうしたらよいかについて考えていきます。さらには、21 世紀を間近にした今日の望ましい男女のあり方や、社会システムのあり方について、諸外国との比較を試みながら考察を進めます。

年間スケジュール

1. 最初の数回は個人又はグループに分かれて、最近女性に関してどのようなことが問題になっているのかを、雑誌『女性情報』によって調査する。
2. 調査内容を、ライフスタイル、女性と労働、家族・家庭、女性と社会保障、女性と教育、男女平等をめぐる諸外国の動きなどに分け、自分が一番関心を持った問題を 1 つ取り上げて報告する。
3. 女性問題の所在が明らかになった時点で『東京の女性白書』をテキストに内容を学習する。

【評価方法】

通常のゼミにおける発表内容およびレポート

【授業科目名】英国語学研修	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期（事前指導）、後期（語学研修）	
【授業目標】 英国リーズ市に約3ヶ月ホームステイし、リーズ・メトロポリタン大学の語学研修プログラムに参加しながら、日常会話を修得し、積極的にネイティブ・スピーカーとコミュニケーションできるようにする。また、現地に滞在することにより、イギリス文化の教養を身につける。	
【テキスト・参考書】 事前指導にて指示	
授 業 計 画	
<p>前期に事前指導、後期に約3ヶ月英国リーズに滞在し、リーズ・メトロポリタン大学の語学研修プログラムに参加する。</p> <p>前期事前指導では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスポート取得、渡航手続きをはじめ、現地に滞在するための準備を進める ・現地滞在に必要な基本的な英会話、英語の基本をマスターする ・英国滞在を一層有意義なものにするため、イギリスの地理、歴史、文化の基本的な知識を修得する <p>語学研修では</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修期間：9月2日～12月1日 9/2 成田出発→ロンドン・ヒースロー着 ロンドン泊 9/3 ロンドン市内観光 ロンドン泊 9/4 ロンドン→リーズへ移動 ホームステイ開始 9/6→11/26 リーズ・メトロポリタン大学にて語学研修 11/27 リーズ→ロンドンへ移動 ロンドン泊 11/28、29 ロンドン市内観光 ロンドン泊 11/30 ロンドン・ヒースロー→12/1 成田着 ・語学研修は、メトロポリタン大学語学研修の一般プログラムに参加し、他国の留学生とともに、ネイティブ・スピーカーの授業を受ける ・リーズ近郊のヨークやハワースといった観光地への遠足、スポーツ、パーティなどのactivityに参加も可 <p>帰国後</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリスで培ったことを定着させるべく、事後指導（反省会も含む）も行う 	
【評価方法】 現地の成績に平常点、レポートを加味して評価する。	

【授業科目名】 英語特別演習	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の文化や歴史を英語で紹介できるようにする。 2. 英語を書くことを大切にする。 	
<p>【テキスト】</p> <p>必要に応じて指示する</p> <p>【参考書】</p> <p>Discover Japan - Words, Customs and Concepts (Kodansha)</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の文化や歴史がどのように英語で紹介されているのかを読む 2. 紹介のされ方で問題があると思われるものを明らかにする。 3. 事実に即した紹介ができるように英文を書いてみる。 4. 各自でテーマを決めて調査研究して英語でレポートをする。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。</p>	

【授業科目】 英文の構造	【担当者】 上原重一
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>すでに中学・高校で英語を学習しているが、言語の構造が日本語と違っているので理解しても十分に使いこなせないという難がある。英語の構造を、日本語と対比しながら、読んだり書いたり話したりする力を伸ばすことを目標にする。特に、書くことに重点を置き、日本語に対する理解も深めたい。</p>	
<p>【テキスト】 How to Write English ---Based on the Difference between Japanese and English--- 羽鳥博愛著（朝日出版社）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業の中で、必要に応じて提示します</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1 英語の主語と語順 2 時制（テンス）のずれ 3 肯定と否定 4 能動と受動 5 無生物主語の活用 6 日本語の動詞的表現と英語の名詞的表現 7 名詞を修飾する諸形式 8 単語の意味と範囲 9 英語では省略できるもの、補足が必要なもの 10 英語のくせと立体的な構造 11 副詞節のいろいろ 12 補語とは何か、補語を使いこなすために 13 代名詞に強くなるために 14 英語のニュアンス 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業の中で簡単なレポートを書いてもらう。それらと、期末に提出してもらうレポートによって評価する。</p>	

【授業科目】 英語の音声

【担当者】 ライラ・コルスイ

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

正しくきれいな発音を確認しながら自然な流れの
発言を進めていくこと。

【テキスト】

【参考書】

配布のプリント

授 業 計 画

配布されたプリントを参考にしながら先生の発音をまね
したり イントネーションやアクセントに重点をおいてペアになって
練習したり英語の独特な発音をチェックされます。

【評価方法】この授業の評価はクラスの出席と積極的な
参加と習った内容について学期末の口頭試験
30% ずつにもとづきます。

【授業科目名】リーディング	【担当者】瀧口 優
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 1. 様々な英文を読み、深く読みとる力をつける 2. 文章の内容をとらえて的確にまとめる力をつける	
【テキスト】 必要に応じて指示する	
【参考書】 必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
1. 様々な種類の英文を読んでみる。 説明文、物語、日記、劇、英詩、新聞等.. 2. ビデオ教材などを使って、英文の意味内容を音声やジェスチャーによる表現を見て、深く理解する方法を学ぶ	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目名】 英語表現	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 1. 一定のテーマについて調査研究して英語で自分の意見を表現する。 2. スピーチや英会話を行う	
【テキスト】 必要に応じて指示するが英字新聞を活用する	
【参考書】 必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
1. 英字新聞などの記事を読みながら、あるテーマについて自分の意見をまとめる。 2. それぞれの意見を交流し、さらに意見を深める。 3. 最終的にはそのテーマでスピーチできるようにする。 4. 各自でテーマを決めて調査研究してレポートを作ったり、口答で表現する。	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 英会話 I

【担当者】 ライ・コースイ

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

生徒が「英語で」日常会話をスムーズにできるようになること。

【テキスト】

【参考書】

配布のプリント、英和-和英辞典

授 業 計 画

1. 3~5分スピーチとQ&A
2. ペアになって会話の練習
3. 日本語の会話を英語に訳す
4. 会話の聞き取り練習

【評価方法】 この授業の評価は出席と積極的な参加と習った内容について学期末の会話試験30%ずつにもとづきます。

【授業科目】 英語圏の文化	【担当者】 木野淳子
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語圏の文化を、それが形成された歴史的背景を検討する事によって考察し、必要な基礎知識を身に付ける。</p>	
<p>【テキスト】 使用しない。</p>	
<p>.....</p> <p>【参考書】 必要に応じて授業の中で紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現在、英語は世界における共通言語といっても良く、その重要性は周知の通りである。しかし、言語を学ぶだけでは、英後圏諸国を理解することは困難である。そこで、この授業では、英語圏が形成された背景とその文化を考察することによって、英語を母国語ないし公用語とする諸国及び人々に関する理解を深めることをねらいとする。</p> <p>英語圏と一言で言っても、イギリス、アメリカ合衆国はじめ、オーストラリア、ニュージーランドなどかなり広範囲にわたる。そのため、この授業では、英米と深いつながりがあるカナダを中心に取り上げ、その文化が形成される背景及びその特色について、考察を加える予定である。</p>	
<p>【評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 一. 授業時の筆記試験 二. 授業時の感想文やレポートなどの提出物 	

【授業科目名】 文学の読み方	【担当者】 中島好伸
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>文学作品を読むための基礎知識、用語やテーマの引き出し方、分析方法、批評方法などを身につける。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>毎時間コピーを配布する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>文学作品にはいろいろな読み方がある。その第一は印象批評だろう。好き嫌いの世界である。ものすごい教養を身につけた人が印象批評をすると、これは一流の文学研究になってしまう。しかし、なかなか世界の現象全てを知っている人はそうはいないし、一流の印象批評家だって、所詮は主観的なものなのだ(でも、主観はとっても大切なものだから、印象批評も重要)。そこで、作品の読み方を客観的なものに近づけるために、あれやこれやの方法が存在する。この授業では、これらの方法論を、時には具体的なテキストに即して、分かりやすく展開してみたい。</p> <p>はじめは印象批評：文学とは何か 活字の羅列のように見えながら、活字は読者にあるイメージを醸し出す、活字＝視覚的映像 そこには視点がある そこには語り手がいる 語り手の性格、美醜善悪の捉え方 時には語り手＝作者、時には語り手vs作者、時には語り手が特定でき、 時には語り手が複数いる 活字（語り手）は全てを語らない 文学作品には空白がある 語りのレトリック、緊張や矛盾、ニュークリティシズム、脱構築という方法 文学作品には語られた場所と時間がある ★以上が内在分析</p> <p>作品内で語られた場所と時間は、現実世界（歴史）とどう関係するか、歴史的社会的批評 作者の人生と現実の世界を作品内に読み込む 作品内の言葉はすでに語られた言葉？ インターテクスチャリティー 他の学問の成果を作品に当てはめてみる 心理学的方法、その他諸々 ★以上が外在分析</p> <p>文学作品には読者が必要、作者のメッセージは無視してよいか 作者の死 →このような事柄を授業内で展開する</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】 日本文学史

【担当者】 東 喜望

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 <前近代の文学と近代文学成立期の評論と小説>
窃盗や殺人が日常化している、ひどい世紀末になりました。7世紀間にわたる長い封建社会を批判して、出発したはずの「近代」の行きつく先がこんな時代であってよいのでしょうか。この講義では、前近代と近代を相対的にとらえ、「文学」における「近代のスタート」とは何だったのかという問題を考えます。したがって、近世と明治20年ごろまでを重視します。

【テキスト】 講義資料(プリント)配布

【参考書】 授業時に適宜指示する。

授 業 計 画

講義の概要

I. 古代・中世文学概説

II. 近世の文学

近世の特質

近世文学の一般的方法

近世小説の萌芽と展開 — 浮世草子から読本・怪異小説へ。

近世後期戯作の諸問題 — エロス・ブラックユーモア・愚・頹廢。

III. 明治初期の文学

戯作の残滓


啓蒙期の評論・翻訳小説

文学改良運動 — 坪内逍遙・外山正一ほか。

近代文学の生誕 — 二葉亭四迷と森鷗外

「没理想論争」(道・鷗論争)。

【評価方法】 定期試験時の筆記試験。

【授業科目】 小説の世界	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>明治～昭和の人たちは、ナニも「強いられて」小説を読んだワケではあるまい。「オモシロイ！」から、読んだのだ。……現代人が、テレビドラマを見るように。その「面白さ」を発見することが、「小説研究」の本来的目標だ！</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>教科書は使用しない。 講義の中で紹介する作品の中から、極くわずかを読むことが課題になります。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じ、講義中に紹介します。</p>	
授 業 計 画	
	<p>まず、「勉強＝知識＝暗記」のイメージは、キッパリ捨てましょう。</p> <p>「知識」よりも、「作品の味わい」が大切です。</p> <p>レストランで「メニュー」を覚えるよりも、実際に食べてみるのが良いし、 (食欲がないなら) 食べた人の話を聞いた方が、遥かに楽しい。</p> <p>この講義では、実際の小説を、まず紹介＝解説しながら、 その「面白さ」を再発見し、その「魅力」の秘密を探ります。 ……それが実は、学問としての「文学研究」の、本来的目標だからです。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>「紹介＝解説したい」小説の例</p> <p>日本最大のドロドロ・メロドラマ……………尾崎紅葉『金色夜叉』 幻想世界の恋・異次元ロマンス……………幸田露伴『土偶木偶』 死の美学か、偽装心中事件か？……………泉鏡花『外科室』『義血侠血』 やはり暗いと思う。でも……………島崎藤村『破戒』 「密室世界の倒錯」でも、美しければ良い！……………谷崎潤一郎『刺青』 「強い自我」は本当に「健全」なのか……………武者小路と志賀の作品</p> <p>○このほかにも構想しています。○進度によって省略するものもあります。</p> </div>
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて「書く」形式。 講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておけば、大丈夫。 出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 日本語表現法	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】 有島武郎の名作・小説『迷路』を、 自分流に書き直してしまおう！ そのことで、①「分かりやすく美しい日本語が書ける」能力を身につけよう。 さらに、②「言語による自己認識と表現・伝達」について深く考えよう。 同時に、③「小説をより深く読む」力も身につけよう。</p>	
<p>【テキスト】 プリントを配布します。国語辞典を持って来て下さい。</p>	
<p>【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介します。特別に買う「義務」はありません。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>「分かりやすく美しい日本語を書く」ということは、大変なことです。「書ける」ようになるためには、それなりの努力が必要です。 しかし、いったん「書ける」ようになれば、正確な「伝達」ができるだけでなく、より深く「<u>自分自身を認識し表現する</u>」こともできるようになります。</p> <p>本講では、有島武郎の名作『迷路』を、<u>現代の感覚と文体で、全く新しい小説に「書き直してしまう」</u>作業をしてみます。——皆さん一人一人が、自分流の『迷路・現代版』を書いてみるのです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人物の行動や動作を、スッキリと明瞭に表現するには、どうしたらよいか。 ・ 複雑な思想や感情を、分かりやすく伝えるには、どうしたらよいか。 ・ 情景を「目に見えるように」書くためには、どんな工夫が必要か。 <p>このような作業を通じて、<u>正確で美しい「日本語表現能力」を身につけてもらいたい</u>と思っています。</p> <p style="text-align: center;">小説『迷路』とは……</p> <p style="text-align: center;">舞台……二十世紀のはじめのアメリカ東海岸。 主人公……留学中の日本人青年。繊細で傷つきやすい性質。 エピソード少々……アメリカ人女性への切ない恋。人妻との情交。激しい革命運動。</p> <p>皆さんは、原作を「やや古い」と感じるでしょうが（大正時代の作品です）、それが「<u>ちょうど良い</u>」のです。「新しくてピッタリ来る」ものは、かえって「書き直しにくい」からです。逆に「古すぎる」と「現代語訳」の授業のようになってしまいます。「ほんの少し古い」のが「ちょうど良い」のです。</p> <p>文学史に残る名作を、受講生が、各自「<u>自分流に書き直してしまう</u>」授業は、おそらく、<u>日本で初めての試み</u>でしょう。しかし、とても大切な能力が養えます。——「書き直しやすい」部分を教材にしますので、恐れることはありません。——皆さんの手で、「現代風」の『迷路』を生み出しましょう。</p> <p><u>有島武郎も草葉の陰で喜んでくれることと思います。</u></p>	
<p>【評価方法】 平常点。まじめに参加すれば大丈夫。</p>	

【授業科目】 日本語表現法	【担当者】 東 喜望
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】 人間はことばを持つ「動物」です。ことばでものを考え、ことばで社会をつくり、文化をつくります。ですから、ことばによる表現は人間にとって、基本的な、大切な活動だといえます。ここでは、ことばによる表現の大切さと殊に、書きことばによる表現の基本を学ぶことを目標にします。</p>	
<p>【テキスト】 講義資料(プリント)を配布する。</p>	
<p>【参考書】 岩瀬悦太郎『悪文』(日本評論社)。 谷崎潤一郎『文章読本』(中公新書)ほか。</p>	
授 業 計 画	
<p>授業は講義と実作(制作)を併用して進めます。講義の内容と実作(制作)のジャンルは、下記を予定しています。</p> <p>I. 講義</p> <p>1. ことばと思考 2. ことばの機能 3. 文章の構造 4. 文章表現の基本 5. 文章のスタイル</p> <p>II. 制作</p> <p>1. エッセー 2. 評論 3. 短詩 — 伝統詩(和歌などのハロチーなど) 4. コント(掌篇小説)</p> <p>----- 「文集」の作製を予定していますが、受講者多数の場合は、割愛します。</p>	
<p>【評価方法】 授業への参加を重視します。評価は授業参加の度合と提出作品に拠りますが、小テストを実施する場合があります。</p>	

【授業科目】 日本語表現法	【担当者】 丸尾寿郎
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>ことがらや ようすを 的確にとらえる。</p> <p>○身のまわりのことがらや できごとなどで、感じたこと、思ったことを 飾らずに すなおに 書く。</p> <p>○見たり 聞いたりしたことを、いきいきと表現し、順序よく伝える文章を書く。</p> <p>○調べて知ったことは、よりどころを示し、意見のわかれることがらについては、自他の意見を区別して書く。</p> <p>○自分の考えを 筋道立てて のべる。</p> <p>このような文章表現の力を しっかり身につけることを 目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>使用しない</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>文章を書くということは、全人格的な行為である。上手下手でも、技法でもない。あえていえば、自他を励ます営みである。書くことの実践のなかで、自己を育て、自分の文体を作っていくことが 学習の中心になる。</p> <p>(1) 生活に根差した文章を書く。</p> <p>(2) 自分の意見をのべる文章を書く。</p> <p>(3) 資料などにあたって調べ、わかったことを筋道たててのべる文章を書く。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点で評価する（出席状況、作品提出度数などを総合する）。</p>	

【授業科目】 比較文学

【担当者】 栗田廣美

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

ほんとうの「国際人」とは、どんな人か？

アメリカ (とヨーロッパ) から、日本文化(文学・芸術)が見える！

アメリカとヨーロッパへの「ソクソクするような憧れ」と「苦しいコンプレックス」。
その中で、私たち日本人は、自らの文学・芸術・思想を生み出してきました。
アメリカで青春をすごした有島武郎 ——このナイーブな作家・思想家を軸に、「ほんとうの国際人」を考えます。

【テキスト】

教科書は用いない。必要に応じ、プリントを使用する。

なお、講義では英語は一切使わない。平易な日本語のみ。

【参考書】

栗田廣美著 『亡命・有島武郎のアメリカ ——どこでもない所への旅』 (右文書院・刊)
購入することが望ましいが、本学図書館(参考図書コーナー)にもあります。参考部分を指定します。

授 業 計 画

教養科ならではの専門科目らしく、
広い国際的視野から、しかも現代的なアプローチで、
〈日本文化・日本文学〉を考える構想を抱いています。

- 1 「アメリカ・ヨーロッパ」と日本近代文学……私たちのいただく「憧れ」と「コンプレックス」の正体は？
 - a 日本文化史の中でも、特に「奇妙な時代」に、我々は生きている。
 - b 「英語名人」の時代と「アメリカ」のイメージ……岡倉天心・内村鑑三・新渡戸稲造と、それ以後。
 - c 「使命感」と「西洋へのコンプレックス」の間で……森鷗外と夏目漱石。
- 2 有島武郎と「アメリカ・ヨーロッパへの憧れ」
 - a 横浜と札幌……「アメリカ・ヨーロッパ」に接し続けた生い立ち(童話『一房の葡萄』にも触れる)。
 - b 『聖書』の魅力……キリスト教入信と離教。
 - c 『若きウェルテルの悩み』……「激しい片恋」と「別世界」への憧れ。
- 3 アメリカでの有島武郎
 - a ドイツ文学と「中世ヨーロッパ」への逃避……フィラデルフィアとハヴァフォード大学。
 - b 虚構の美少女「リリー」とダンテの『神曲』……フレンド精神病院の森の奥で。
 - c ホイットマン、イブセン、そしてアメリカ社会主義……ハーバード大学。
- 4 ヨーロッパでの有島武郎と永井荷風
 - a 森鷗外・夏目漱石の「新しきヨーロッパ」と、永井荷風・有島武郎の「古きヨーロッパ」
 - b 永井荷風のフランスと、有島武郎のイタリア・スイス・ドイツ、そしてパリ・ロンドン
『クララの出家』(イタリアの聖地アッシジ/聖フランシスコと聖クララの物語)にも触れる。
- 5 「アメリカ・ヨーロッパ」との関連の中で、現代日本の文化をどう見るか

「比較文学」という学問は、民族・言語の違いを越えた「作品間の影響関係」を探る学問として生まれました。しかし、最近では、狭い「文学の影響関係研究」だけにとどまらず、「より広い文化交流全般の中でとらえなおす」方向に、急速に発展しつつあります。本講は、この最新の研究動向にのっとり、しかも、あくまでも「欧米近代文明が世界を支配してきた」という現実的力関係を見据えた、「開く比較文学」を目指します。そのことで、文化(文学もその一分野)の、真の国際交流の可能性を探りたいからです。

【評価方法】

筆記試験(ノート・プリント等、何でも参照可)。講義に基づいて「書く」形式。

講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておけば、大丈夫。

出席点・平常点を加味して、総合的に評価する。

【授業科目】 歴史の見方	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>歴史的にももの見るとはどのようなことだろうか。また、歴史を学ぶとは何を学ぶことだろうか。単純に過去を振り返り、どんな事実があったかを検証することで良いのだろうか。これらのことについて考えて見ることからはじめ、歴史を学ぶ方法、歴史における発展とは何か、そこには法則性があるのかなどを突き詰めてみたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>多数あるので講義中にその都度紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>歴史の発展段階、歴史と個人の問題、あるいは歴史研究法としての史料批判についてなど、毎回個別のテーマを扱いながら進めていこうと考えている。歴史に関する専門的な知識は必要としない。</p> <p>大きな柱立てとして次のようなテーマを考えている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総体の歴史」＝「存在としての歴史」と「認識されたものとしての歴史」 ・「自分史」としての歴史 ・歴史の中の個人 ・歴史事実と歴史観 ・切り取った時代の構造分析 ・歴史の発展段階と発展法則 ・史料と歴史研究法 ・歴史的なものの見方とは何か ・歴史を学ぶこと 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 古代の歴史（考古を含む）	【担当者】 田中禎昭
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の古代国家形成の歴史的条件について、古代地域社会論の深化、および地域社会と古代国家の諸関係の構造的・動態的把握を通じて考えてみたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">授業時にプリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考書：門脇禎二『古代史をどう学ぶか』（校倉書房）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>古墳時代前期（3／4 C）から奈良時代（8 C）に至るまでの時期を対象とする。この時期は、日本の国家成立期に重なり、階級矛盾と対外戦争（国家間戦争）が大規模に展開した歴史上最も緊迫した時代の一つである。講義は、古代史の基本的事実を確認しながら進めていくが、個別分散的に事実を列挙するのではなく、とりわけ国家形成過程における内外の諸矛盾に着目し、その歴史的条件を当該期の地域社会の動向の中に認めていくという視点を重視したい。近年の古代史研究は、もはや文献史学の枠の中にとどまっているだけでは、新しい歴史像を構築していくことは出来ない。考古学・地理学など隣接諸科学の成果を積極的に活用し、国家形成期における政治過程と地域社会の動向がいかに関わるのかという問題を常に射程において、古代史の構造的・動態的把握を目指したいと考える。</p> <p>なお、下記の論点は、今回の講義では特に詳しく掘り下げてみたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前方後円墳体制について 2. 古墳時代の豪族居館と7. 8世紀地域「官衙」 3. 国家・首長制・社会集団 4. 6／7 C 「内乱」と王権継承システム 5. 古代の「公」と「私」とは何か—古代の公共性とは？ 6. 古代地域社会の豪族と国家—「出雲」を主たる対象として— 	
<p>【評価方法】</p> <p>小レポート、期末試験、出席点による総合評価。</p>	

【授業科目】 史料で読む歴史	【担当者】 西脇康
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>活字化された近世史料の輪読を通じて、音読法・解釈法など史料操作の基本を身につけながら、史料批判と歴史事実の復元・展示・映像化の手法について学び、実証研究を取り入れた卒業レポート執筆への基礎がためとしたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>西脇 康編著『旗本三嶋政養日記』。輪読部分を各自に配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>特に定めない。必要に応じてプリントを配布する。</p>	
授 業 計 画	
<p>幕末・維新を生きた旗本三嶋政養（まさきよ）がみずから記録した日記（『日記摘要』嘉永元～明治14年／1848～1881）を読む。幕末の旗本像、江戸の世相、戊辰戦争の動乱などについて具体像をつくりあげたい。</p> <p>実は昨年7月から9月の3ヶ月、この日記を使ったNHK教養番組「堂々日本史」－武士廃業－（コメンターは志茂田景樹など、9月29日放送）の制作に全面的に協力させられた。この経験を通じて、歴史資料がいかにか映像化されるのか、番組はいかにつくられるのか、ロケと取材のあり方、演出とヤラセなどについて、具体的な制作資料（台本・絵コンテなど）を配付して、いっしょに考えてみたい。</p> <p>三嶋家は三河以来徳川氏に仕え、当時は上屋敷を本所石原（現墨田区）に構える知行高1300石の中堅旗本であった。政養は、旗本では極官の御側御用取次をつとめる父夏目信明の意志で、三嶋家に入婿した。昌平坂学問所の学問吟味では、優秀な成績を収め表彰されるほど朱子学には通じていたが、風雲急を告げる幕末にあつて、小姓組番士という武官には就任したものの、文官としての御系図御用出役に出向し、出世の足がかりがつかめず挫折していった。それだけに、幕府の政治については冷静かつ批判的であり、滅び去る幕府の側、ないし敗者の側にとって、明治維新とは如何なるものに映ったのか、如何に生き抜いていったのかを日記からうかがうことができる。</p> <p>日記は大部に及ぶため、ハイライト部分を適宜史料として配付する。また、関連する歴史事物をビジュアルな形で提供するので、たんなる講読にとどまらず、会得する知識も豊富になるだろう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>基本的には最後の時間の試験（自筆ノートと配付資料は持込許可）による。定期試験中にレポート提出（ただし任意）を課す。</p>	

【授業科目】 史料で読む歴史	【担当者】 湯川郁子
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>公文書、新聞・雑誌等に掲載された論説、個人の日記・伝記など、日本近代史の、史料とよばれる文書を読み解くことを通して、時代の雰囲気を感じながら、歴史事実に向き合う方法を学びます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業時に配布します。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>歴史学研究会編 『日本史史料 (4) 近代』 岩波書店、1997年</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>今年度は、'日清戦争後の政治と社会'をテーマに、さまざまな史料をとりあげ、これらを読み解いていきます。具体的には内容は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 憲政会から政友会へ (政治) ② 産業革命の影響 (経済) ③ 社会運動の勃興 (社会) ④ 北と南 (北海道と沖縄) <p>が、小テーマになります。</p> <p>授業は、セミ形式で、報告者による担当史料の内容紹介・問題点の指摘 → 受講者全員による討論により、進めていきます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点と、レポートまたは試験(とらえ方は未定)の総合評価</p>	

【授業科目】 史料で読む歴史	【担当者】 針谷 寛
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>この授業では「史料で読む」ということの意味をゆるやかに考える。つまり、すでにまとまった意味のある歴史像のなかに組み込まれた姿でいろいろな事実を見るのではなく、まだ意味のつながりが不明瞭な、いわば「生の」諸事実を自分でじかに見ながら、そこに意味のあるつながりを探っていく体験と考えておきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p><i>Conversations with Klemperer</i>, edited by Peter Heyworth, London 1973. コピーを用意する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>最初の時間に紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>外国史を外国語の史料を読んで学ぶのはむずかしい。だからといって、翻訳だけで読むのでは、史料を読むおもしろさが半減する。この授業では、少しの英語史料と多くの日本語文献の組み合わせで、これに挑戦してみよう。(大きな声では言えないが、実はこのテキストには翻訳もある。)</p> <p>材料は、かなり特殊な分野から選ばれている。19世紀末から20世紀前半のドイツの音楽家の回想録である。さしあたりはオットー・クレンペラーという指揮者の活動とそれをとりまく音楽界に関する証言が主たる材料に見えるだろう。しかし、ここにあるのはたんなる音楽家の内輪話ではない。この時代のドイツないしヨーロッパの大きな問題が顔をのぞかせている。ドイツに限っても、近代化を実現しつつ、第一次大戦を経ていわゆるワイマール時代に至り、さらにナチズムの時代におよぶ振幅の大きな激動の時代である。政治的なものから極めて遠いと見える音楽家の活動のなかにも、政治的緊張が、また広く近代化に根ざす社会問題が滲透している。反ユダヤ主義の問題しかり、亡命と共同体(と世界市民主義)の問題しかり…。だが、こうした問題を大上段に振りかざすのではなく、諸個人の生活に即して、ていねいに見ていきたい。</p> <p>テキストについて分担して報告してもらう形で進める。通史的な参考書も紹介するが、クレンペラーに近いこの時期の音楽家(マーラー、シュトラウス、ワルター、フルトヴェングラーなど)の伝記、日記、書簡の類で日本語で読めるものは、できるだけたくさん読んでもらいたい。そのなかからどのような意味あるつながりをたぐり出すかは、調査と思考とイマジネーションとセンスにゆだねられている。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点による(予定)。</p>	

【授業科目】 日本文化論	【担当者】 高橋秀雄
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>文化とは Culture の訳語であり、その原義は“耕す”という意味である。古代から、人間は自然を耕すことによってさまざまな文化を創りあげ、それを伝承してきている。その軌跡を探りながら文化の特徴を探究する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>各種文化関係書（その都度指示する）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>文化とは何かを命題にし、文化の基本から説き明かして芸術分野に高められてゆく過程に焦点をあて、その内容を把握するとともに、とくに東西文化の特徴を比較することによって、文化に対する認識を深める。</p> <p>各テーマについては、1回または数回の講義となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文化とは何か 2. 人類の発祥と文化の発生 3. 日本の古代の文化 4. 火と水の文化 5. 石と木の文化 6. 狩猟と農耕と海洋の文化 7. “じとば”の文化 8. 東洋文化と西洋文化 9. 日本文化論 	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 期末レポート 2. 授業時の小レポート 3. 授業時の平常点</p> <p>} 左記3項による総合評価</p>	

【授業科目】 生涯学習概論	【担当者】 中嶋みさき
【開講期】 1 年 後期（前半）	
<p>【授業目標】</p> <p>現代の日本の学校教育では、受験競争、いじめ、などさまざまな問題が生じている。それらは改めて「教育とは何か?」「学校とは?」「教師のあり方は?」という根本的な問いを投げかけている。多くの国民が学校体験を有する現在、これらの問いに対する答えもさまざまな立場から論じられている。だがそれらは、必ずしも教育的なものの見方、考え方にもとづいたものではなく、ときには教育的であることそのものへの懐疑を表明している場合もある。</p> <p>こうした状況をふまえ、この講義では、現代的な問題を取りあげながら、教育的なもの の見方、考え方の基礎を学ぶことにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に使用しない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>村山士郎『いじめの世界が見えてきた』大月書店／E・フロム『人生と愛』紀ノ国屋書店 J・J・ルソー『エミール』岩波文庫など。その他、随時時間内に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>具体的な教育問題として「いじめ」の問題を取りあげ、また、教育的な考え方の一例として、J・J・ルソーの生涯と教育論『エミール』の紹介をおこない、近代教育思想の原点をたずねたい。</p> <p>講義の大意は、以下の内容などを予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の教育と「いじめ」 2. 社会制度と人間の心理 3. 近代教育思想の原点をたずねて <p>講義形式の授業であるが、できるだけ学生のみなさんの問題関心に配慮して授業を進め、現代教育の諸問題とむきあうための手がかりを提供できるよう努力したい。講義内容に関する積極的な質問、意見、感想を期待している。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席とレポートをもとにした総合的評価をおこなう。</p>	

情報・資格科目（1年）

情報科目

【授業科目名】 情報検索演習	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年前期(後半)	
【授業目標】 表計算ソフトウェアの実習を通してデータベースの作成と情報検索の基礎を学びます。コンピュータを使っての情報検索の基本的な手法を理解するとともに、ネットワーク環境を利用した情報の探索・検索についても知識を得ることをめざします。	
【テキスト】 安達一寿他著「インターネット時代の情報処理テキスト」樹村房(情報機器論と共通) 【参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 表計算ソフトの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトの基本 ・表計算ソフトによるデータベースの作成と情報検索 2. ネットワーク環境におけるデータベース <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク環境でのデータベースの構築 ・ネットワーク環境でのデータベースの検索 	
【評価方法】 ネットワーク上での実技試験を行います。	

【授業科目】 情報検索演習	【担当者】 宮武直樹
【開講期】 1 年 前期（後半）	
<p>【授業目標】</p> <p>ネットワークの出現により、新しいライフスタイルやビジネススタイルが出現し、情報の検索も進み、コンピュータ資源の共有や専有によるウェブイヤーの成果が期待されるようになってきた、そこで情報化社会の素養としてのネットワークの活用の基礎を学習する。</p>	
<p>【テキスト】 随時プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】 参考文献を授業で紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディアによる新しいライフスタイル 2. Netscape Navigator の基本操作 3. インターネットについて（その入り方、使い方、世界旅行へ、手紙） 4. 情報検索サービスへのアクセス（1） 5. 情報検索サービスへのアクセス（2） 6. ネチケットとインターネットの明日 7. まとめ 	
<p>【評価方法】 授業中での課題提出、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	

【授業科目名】 情報機器論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年前期(前半)	
【授業目標】 汎用情報機器としてパーソナルコンピュータを取り上げ、ワープロとしての利用をはじめ、ネットワーク環境でのコミュニケーション能力養成のための電子メールの実習を行い、ネットワーク時代に対応できる情報メディアリテラシーの基本を修得することをめざします。	
【テキスト】 安達一寿他著「インターネット時代の情報処理テキスト」樹村房(情報検索演習と共通) 【参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な情報メディアリテラシーの修得 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組み ・キーボードリテラシーの養成 2. ネットワーク環境でのコミュニケーションツールとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・電子メールの仕組み ・電子メールによる情報交換 ・World Wide Webによる情報の探索と提供の基本 3. コミュニケーションツールとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・ワードプロセッサの編集機能の活用 ・情報の保存と活用 ・思考ツールとしてのワードプロセッサの活用 ・プレゼンテーションツールの活用 	
【評価方法】 課題をネットワーク経由で提出してもらいます。	

【授業科目】 情報機器論	【担当者】 宮武直樹
【開講期】 1 年 前期（前半）	
<p>【授業目標】</p> <p>コンピュータに関係した技術は進歩が早く、それにもなつて次々と新しい製品が出現する。それはハードにしてもソフトにしても同じことである。そこで本講義は、新しいライフスタイルやビジネススタイル視点から、特に私たちの生活との関わりからみたコンピュータのハードとその活用についてわかりやすく解説をするつもりである。</p>	
<p>【テキスト】 随時プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】 参考文献を授業で紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 通信（新しい通信インフラ） 2. 家庭生活（電子新聞、ホームショッピングなど） 3. ワークスタイル（在宅勤務、電子取引・決済など） 4. 行政（電子申告・申請、免許書の更新） 5. 医療（通院の減少、遠隔医療） 6. 広告と流通 7. まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>テスト、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	

情報・資格科目（1年）

博物館科目

【授業科目】 博物館学	【担当者】 柘植信行
【開講期】 1 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>博物館は、私たちの生活や地域の文化にと`のような関わりをもっているので`しょう。ますます多様化する現在の博物館の現状を学ぶ`ことから出発して、博物館の歴史や理念、その仕事や学会員の役割など`について考えていきます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>講義に必要な資料は、適時配付します。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>伊藤寿朗著『市民のなかの博物館』（吉川弘文館）</p>	
授 業 計 画	
<p>(博物館概論) オリエンテーション-博物館とはなにか- 博物館の種類と分類 博物館の歴史 博物館の現在-博物館・美術館・水族館・エコミュージアム……- 地域博物館の展開 生涯学習と博物館の課題 博物館の法律 博物館をつくる-構想から開館まで-</p> <p>(博物館経営論) 博物館の行財政制度 博物館の施設と設備 博物館事業-教育・普及活動- 博物館と学会員-学会員資格とその仕事- 博物館とボランティア</p> <p>(博物館資料論) 博物館資料の収集と保存 展示とはなにか-常設展と特別展- レプリカの活用-意義と作成方法- 博物館の調査・研究活動 文化財保護・遺跡保存と博物館</p>	<p>(博物館情報論) 博物館での情報の意義 博物館での情報の提供 博物館での情報の活用 情報機器の活用と方法</p>
<p>【評価方法】</p> <p>① レポート ② 博物館見学発表・感想文</p>	

【授業科目】 博物館実習	【担当者】 上野光子・高橋秀雄
【開講期】 1 年 前期・後期	
【授業目標】 学芸員として実際の場に臨む場合に必要な心構えと、基礎となる知識・技術の修得を目標とする。	
【テキスト】 使用しない。必要に応じてプリントを配付します。	
【参考書】 全国大学博物館学講座協議会関西部会『博物館学概説』ほか。	
授 業 計 画	
<p>広範に渡る学芸員の仕事の中から人文科学系にしぼり、下記の項目にそって、講義1実習3を目安に授業を進めていく。見学によりなるべく多くの実例を学び、同時に作品に接する際の気構えやマナーも重視する。2年次には実際に博物館施設において実務実習を行います。</p> <p>(1) オリエンテーション：博物館実習とは、授業計画、博物館法</p> <p>(2) 学芸員の仕事と現状、実習と図書、博物館の広報活動</p> <p>(3) 博物館施設の実際：国立博物館等の見学2回、事前事後講義、レポート提出</p> <p>(4) 資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2次資料とは ・ 拓本：タンポ・墨作り、屋外拓本 ・ 裏打：くいざき、作図方法 ・ レプリカ作成 <p>(5) 展示と保管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示環境 ・ 劣化と保存科学 ・ 展示施設と方法 ・ カタログ、作品解説 <p>(6) 梱包と運搬</p> <p>(7) 美術工芸品の取り扱い方と種類・技法</p> <p style="padding-left: 2em;">掛軸、卷子、折本、冊子、屏風、面、金工品、漆芸品、陶磁器、彫刻、茶道具等</p> <p>(8) 写真の基礎知識</p>	
【評価方法】 (1)レポート、(2)作品、(3)平常点、(4)出席数、(5)館務実習評価、の総合点。	

【授業科目】 教育学概論	【担当者】 中嶋みさき
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>教育の荒廃がいわれる現代では、改めて「教育」と「学習」との関係が問われている。この講義では、生涯学習とは何か、という問題を、教育思想の歴史的展開をおいながら、生活スタイルの歴史的変化などとあわせて検討し、生涯学習に関する基本的考え方を学ぶことにする。生涯学習の具体的課題については、主として両性の平等と女性の自立という観点から問題の所在を明らかにし、参加者とともに生涯学習のあり方について考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>講義の際に随時提示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1, 生涯学習とは何か。</p> <p>a) 「学習」概念の成立とその歴史的展開</p> <p>b) 生活スタイルの変化と人間形成</p> <p>2, 生涯学習の具体的な課題</p> <p>a) 両性の平等と生涯学習</p> <p>b) 女性のライフサイクルと学習要求</p> <p>c) 生涯学習の機会と制度</p> <p>講義計画は、大きなテーマを中心としており、小項目については変更もありうる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>評価は、学期末のレポートを基本にするが、出席、講義内での簡単なレポートを参考にする。</p>	

情報・資格科目（1年）

司書科目

【授業科目】図書館概論	【担当者】大島 薫
【開講期】1年前期	
【授業目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の役割と種類について基本的知識を学ぶ ・ 図書館の現状と歴史、将来の課題を理解する ・ 図書館政策・行政など社会との関連を理解する 	
【テキスト・参考書】 テキスト：「生活のなかの図書館」 関口礼子 編著 学文社 1992年 参考書：「図書館学基礎資料」 今まど子、中村初雄 編著 樹村房 1990年	
授業計画	
<p>図書館の意義</p> <p>図書館の機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館のサービス ・ 図書館の資料と組織化 ・ 図書館の施設 <p>図書館の種類と現状</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国立図書館 2. 公共図書館 3. 大学図書館 4. 学校図書館 5. 専門図書館 6. 類縁機関 <p>図書館の組織と運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館政策・行政・法令 ・ 図書館職員 ・ 図書館の評価 <p>図書館とその他の図書館や機関との関係</p> <p>図書館の自由</p> <p>これからの図書館</p>	
【評価方法】 平常点・レポート提出	

【授業科目】 図書館資料論	【担当者】 椎葉倣子
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>利用者に資料・情報を提供するの図書館の重要なサービスの一つである。そのサービスを支えている図書館資料全般について学ぶ。そして関連する出版流通、法規などにも言及する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>図書館資料論（新・図書館学シリーズ7）平野英俊他著 樹村房</p>	
<p>【参考書】 新図書館資料論（現代図書館学講座2）河井弘志編著 東京書籍</p> <p>図書館資料論（JLA図書館学テキストシリーズ7）馬場俊明編著 JLA</p>	
授 業 計 画	
<p>図書館資料とはなにか</p> <p>図書館資料の種類と特徴</p> <p>印刷資料 : 図書、逐次刊行物、その他</p> <p>非印刷資料 : マイクロ資料、映像資料、その他</p> <p>コレクション構築</p> <p>資料選択</p> <p>資料収集</p> <p>コレクション評価・再編</p> <p>図書館資料の収集等をめぐる問題</p> <p>出版流通</p> <p>関連法規</p> <p>図書館協力</p> <p>収集・提供と図書館の自由</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート提出、平常点</p>	

【授業科目】 資料組織概説	【担当者】 椎葉倣子
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>図書館が収集・蓄積した資料を、利用者が自在に利用出来るような方策を学ぶ。即ち、目録法、主題目録法、分類法などである。情報化時代を迎えた現在、図書館にもコンピュータが導入されて、組織法も影響を受けている状況にも言及する。</p>	
<p>【テキスト】 資料組織概説（新・図書館学シリーズ9）大城善盛ほか著 樹村房</p> <hr/> <p>【参考書】 日本目録規則 1987年版 改訂版、日本十進分類法 第9版、基本件名標目表 第3版、国立国会図書館件名標目表 第5版（図書館、教養科資料室所蔵）</p>	
授 業 計 画	
<p>図書館の所蔵する豊富な図書館資料――一例を本にとれば、どのように書架に本を並べれば利用しやすいか。また著者や書名が分かっている本が図書館に所蔵しているか、〇〇についての本にはどんなものがあるか、を調べるには目録による。――を利用者に提供するための方策を学ぶ。具体的には以下の事項である。</p> <p>資料組織の意義・機能</p> <p>目録法：日本目録規則 1987年版を中心に</p> <p>主題コントロール</p> <p>分類法：日本十進分類法を中心に</p> <p>件名目録法：基本件名標目表 第3版、国立国会図書館件名標目表 第5版</p> <p>を中心に</p> <p>その他：シソーラスなど</p> <p>書誌データベース</p> <p>書誌ユーティリティー、標準化など</p> <p>（細かいことを学ぶので、最初の授業時間からきちんと出席すること）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点・テスト・レポート提出</p>	

【授業科目】 資料組織演習	【担当者】 椎葉倣子
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>資料組織概論と関連ずけて各論が理解できるように演習する。具体的には、図書 の組織化——目録、分類、主題分析——を行う。また、外部の書誌データを使う 際の問題も考える。そして図書館内での目録利用について利用者にサービス出来 るようにする。</p>	
<p>【テキスト】 資料組織演習（新・図書館学シリーズ10） 岡田靖他著 樹村房</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>目録：記入作成、カード・データ形式により基本的書誌データを学ぶ。 日本目録規則1987年版 改定版による。</p> <p>分類：日本十進分類法第9版による。</p> <p>件名作業：基本件名標目表、NDL件名標目表により件名標目をあたえる。 以上の演習は、最初演習問題集を使用し、ついで図書そのものを使用して実施 する。</p> <p>コンピュータ目録：図書に関して書誌データを作成し、データシートに記入、コ ンピュータに入力する。J-BISCからダウンロードしたデータと共にデータベ ースを作成し、出力や検索の演習をする。</p> <p>目録利用対策：目録利用案内、パスファインダーなど。</p> <p style="text-align: center;">（細かいことを学ぶので、最初の授業時間からきちんと出席すること）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">課題提出及び出席平常点</p>	

【授業科目】 児童サービス論	【担当者】 東 喜望
【開講期】 集中	
<p>【授業目標】 人生の人格形成期において、児童期はその基盤をなす最重要な時期である。この時期に児童が人間として何を欲し、何を求めているか、その正当な知的欲求をまず把握し、これに正しく応えるためには、どんな書籍をどのように読ませていけばよいかという問題を精神文化の側面から考察する。時間僅少(1単位)につき、館内のサービス・テクニクについては、一切ふれない。</p>	
【テキスト】 講義資料を配布する。	
【参考書】 適宜指示する。	
授 業 計 画	
<p>講義概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の言語活動 2. 「読む」ことの意義 3. 少年少女期の特性と読書傾向 4. 児童図書としての良書とは何か。 5. 読書指導と選書の方法 6. 児童図書の実状(実態調査を含む) 	
【評価方法】 筆記試験	

【授業科目】 図書及び図書館史	【担当者】 西村汎子
【開講期】 1 年 後期（前半）	
<p>【授業目標】</p> <p>図書および情報手段の発達・普及と利用者の要望の高まりは、図書館を国民のための開かれた情報センターとする条件をつくりつつある。図書館の歴史の中から人々の努力の跡を辿ると共に、図書館の未来の活動や運営に向けての課題を考えていきたい。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】 岩橋敏生他共著『新図書館ハンドブック』（雄山閣） 石井敦編『図書および図書館史』（講座：図書館の理論と実際10 雄山閣）</p>	
授 業 計 画	
<p>図書および図書館の歴史は、社会のごく一部の人が享受するに過ぎなかった図書および各種の情報が、あらゆる人々のもとに生涯を通じて迅速に提供されるものへと変化発達しつつある歴史である。情報は誰でも入手できると同時に、その内容も教育・研究の必要や地域の人々の要望に十分に応えるものでなければならない。</p> <p>第1章 日本一近代以前の図書と図書館の歴史</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 紙の移入と書写の始まり (2) 古代における印刷・文庫・分類項目の発生 (3) 中世における出版事業・学校文庫・書籍目録の成立 (4) 近世における文庫の発達・庶民の読書要求と出版物取り締まり <p>第2章 日本一近代以後の情報化の発達と図書館の歴史</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 近代図書館の発生一公立図書館の二つの道 (2) 日本資本主義の発達と図書館一公立図書館の定着 (3) 大正デモクラシーと図書館一臨時教育会議の答申・労働者農民の図書館 (4) 軍国主義体制下の図書館一思想言論の抑圧・戦争の被害 (5) 敗戦後の図書館一図書館の自由に関する宣言の採択 (6) 民衆のための図書館へ一日野図書館のスタート・自治体行政の前進 (7) 情報化の発達と図書館の新たな課題 	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験またはレポート</p>	

教養教育科目（2年）

【授業科目】 総合英語Ⅱ－１、２	【担当者】 新井紀代
【開講期】 ２年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>一年次で培った基礎英語力をさらに向上させること。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指定する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>◇聴解・読解の訓練を行う。</p> <p>◇毎回なるべく大勢当てる。</p> <p>詳しい進め方は開講時に説明します。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・授業参加・小テスト・期末テストを総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 総合英語Ⅱ－１、２	【担当者】 長尾主税
【開講期】 ２年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>平易な英文の聞き取りを中心に、基本的な英語運用能力の向上を目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>California Winds (成美堂)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>日本語の発音とは異なる英語の基本的な発音、強勢、抑揚についての知識を習得した後、リズムと速度に留意して日常的な会話を聴きとる訓練を行う。徹底した反復が重要視される。よく用いられるフレーズは暗唱することになる。</p> <p>また、平易な英文を読み、語彙をふやし、基本的な文法事項を修得することが、英語学習の妨げにならないことは言うまでもない。英語のロジックの展開の仕方を学び、少し努力すれば読める短い文章を利用し、理解できたという達成感を積み重ねてゆく。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末に行うテストの結果に、出席等の平常点を加えて評価する。</p>	

【授業科目】 総合英語Ⅱ-1、2	【担当者】 藤田久美子
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1年次に演習を通じて培ってきた英語の基本的技能を、リーディングとリスニングを中心にして、さらに向上させていきたいと思っている。</p>	
<p>【テキスト】 ビデオ教材中心の予定・・・Cousin William (2) (ロンドンに住んで)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>前期・後期を通して、ビデオ教材を用いて楽しく、そしてスムーズにリスニングと内容理解の勉強を進めて行きたい。テキストは、ビデオを見ての内容理解のための問題、会話の中で使われている語句を使っての口頭練習、書き取り等で構成されている。さらに英国文化を紹介する短いコメンタリーも入っているので、これをリーディングの練習として使いたいと思う。</p> <p>ビデオは一つのユニットが一つのエピソードを取り扱っていて、できれば1回の授業で一つのユニットというペースで進んでいきたいと思うので、学生は必ず毎回出席して、話の展開についてきてほしいと思う。</p> <p>*授業の進め方</p> <p>ビデオのシーンを2回程見た後、学生の理解度を見ながら練習問題を一つづつやっていく。問題を皆で解決した後には、必ずどれかを提出してもらう。学生は“自分が主役”という気持ちで、いつも積極的に授業に参加してほしいと思う。毎回提出してもらう練習問題の結果の集積を、積極的な授業態度（発言、質問への応答）と共に、最後の成績の主な部分としたい。また、それぞれの学期に2～3回の復習テストを行う予定である。時にはポップスを聞いたり、別のリスニング教材をコピーで配って練習することも考えている。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状態、毎回の練習問題の結果、復習テストの結果、そして普段の授業参加度を総合して最終評価とする。</p>	

【授業科目】 総合英語Ⅱ－1、2	【担当者】 藤田幸世
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>これまで学習してきた『英語』を基礎知識として、さらに自分を表現するための『外国語』としての英語を学習することを目標とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業毎にプリントを渡す他は、必要におうじて紹介します。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業中に必要なときに紹介することにします。</p>	
授 業 計 画	
<p>Q：19歳の女子学生が日本の国外で英語を話す時、どのような英語がふさわしいでしょう。</p> <p>まず、英語はよく国際語と位置付けられますが、その英語とはイギリスの英語のことをさすのでしょうか、それともアメリカの英語？一口に英語といっても一人一人の人がもしかしたら違う「英語」について考えている可能性だってあります。この授業では英語という言葉のさまざまな顔にできるだけ多く接することを目標とします。</p> <p>英語という言葉についての知識も大事ですが、こんどは英語を実際に使用することを考えてみましょう。十代の女子学生が話す英語はどのようなものが相応しいとされるのでしょうか。例えば、日本語話者の私達が周りを見回しても同じ日本語であっても「子ども」と「大人」の話す言語が同じではないことはすぐにわかりますよね。そうなると、外国語の教科として学習してきた「英語」を女性である十代の学生が話す場合はどのような「英語」がふさわしいと考えられるのでしょうか。</p> <p>その答えは一つではないはず。後期のレポートには一人一人の人が上の質問に答えを考えられるようにしようというのがこの授業の目的です。</p> <p>教材は、テキスト・参考書はプリントを中心に、授業ではビデオも使います。毎授業でビデオを見ながら、語彙の聞き取り、内容についての質問などを行ない、とくに授業中に自分の考えをたとえ間違っているとしても自信をもって皆のまえで話す努力をしてほしいと期待します。必要なことは随時相談しながら決めてゆくつもりです。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点と期末レポートを併せて評価を出します。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ－1、2（オーラル）	【担当者】 森田真澄
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語のリスニング能力及び話す能力を中心に向上させる。</p>	
<p>【テキスト】 First Step Abroad--<旅--言葉と習慣></p> <p style="text-align: right;">金星堂（2,000円）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>テキストと共にビデオを併用し、視覚から入る情報の助けを得ながら、英語の基本的会話を習得する。</p> <p>英語は、「コミュニケーションの手段である」という事を、常に頭に置き、多少の文法的間違いは気にせずに、活発に声を出して頂きたい。</p> <p>辞書は授業中に使用して良いが、必ず予習をしてから、授業に出席する事。</p> <p>この授業において予習とは、DIALOGの全般的な意味(何が話題となっているのか)を把握しておく事、わからない単語、熟語、表現等を辞書を使って調べておく事、又、調べても理解できない個所を授業中に質問できる様に準備しておく事、等である。</p> <p>前期、後期共に、3分の2以上授業に出席しないと、単位取得はできない。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>毎週行なう小テスト---80%</p> <p>授業への参加度----20% 以上の2点で評価。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ－1、2（リーディング）	【担当者】 長尾主税
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>4年制大学への編入を希望する者を対象とし、読解を中心に試験の問題に対応できる能力を身につけることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>各人のレベルを確認した後、プリントを配布してテキストに代える。参考書等については開講時に指示する。なお、必ず英和あるいは英英辞典を持参のこと。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>4年制大学への編入試験には、専門科目や小論文、面接などのほかに、英語が課せられることが多い。そのため編入試験に際して、「論文や専門科目は良くできたが、英語が障壁となった」という事態を免れる程度には知識を獲得し、問題に対応できるようにせねばならない。試験の具体的な問題内容としては、英文和訳が中心であるが、大学によっては文法、整序作文、発音・アクセント、慣用表現等、入試とほぼ変わらない範囲で出題されている。つまり、編入試験を乗り切るためには、もう一度大学の入学試験を受けるのと同等の準備が要求されることになる。</p> <p>各人は、本学を受験した当時の記憶を甦らせ、ブラッシュ・アップに励むことになろうが、授業では初歩的な文法を理解した上で、長い論理的文章を読み解く訓練をする。英語による入学試験を経験したことのない者でも、意欲があれば、努力如何で苦手意識克服し、複雑で長い文章を読みこなせるようになる。積極的に授業に参加し、質問し、疑問点を解消して、「次を読もう」という意欲をもてるようになっていただきたい。</p> <p>実際の試験まで日が限られている(後期から順次実施される)ので、自主学習の負担は大きくなるが、学習すべき教材とその方法については各人のレベルに応じて異なるので、順次説明していく予定である。</p> <p>より具体的なことについては開講時に述べる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末に行うテストの結果に、出席等の平常点を加えて評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ－１、２独語	【担当者】 川口眞理
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>ドイツ語のお話を読む力、また旅行で使えるような日常表現を聞いて話す力をつけることを目指します。</p>	
<p>【テキスト】 『ドイツへ行こう』（Nach Deutschland） 田中安行著 三修社</p>	
<p>.....</p> <p>【参考書】 『ハーメルンの笛吹き男』 小林良孝著 郁文堂</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>前期：昨年度の継続でどちらかという文法に重点を置き、後期の読み物のための基礎力をつけていきます。</p> <p>昨年 of 復習、分離動詞、再起動詞、過去時称、受動態 zu不定詞、関係代名詞、接続詞</p> <p>後期：ドイツ人の作家による『ハーメルンの笛吹き男』の絵本を読みます。</p> <p>この物語はドイツ北部の町ハーメルンで中世に実際に起こった不可解な子供たちの失踪事件がもととなっています。</p> <p>ハーメルンでは今でもこの劇が市民によって演じられています。カラーの美しい絵本を読みながら、ハーメルンへの旅行計画もたててみましょう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席、小テスト、期末試験の結果を総合的に判断します。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ－1、2 仏語	【担当者】 村山知恵
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>映画のシナリオの教科書を使い、一年間で5本の映画のシナリオを、フランス語でともに読み、映画を鑑賞します。映画を通して、フランスの文化、歴史を楽しく学んでいきましょう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>《Si on allait au cinéma》：川合ジョルジェット、中井珠子編：白水社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>「赤ちゃんに乾杯」：シナリオとビデオ</p>	
授 業 計 画	
<p>教科書に採用された映画のシナリオを、じっくりフランス語で読んで、その後、それぞれの映画を鑑賞します。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>前期、後期にレポートによる評価をします。</p>	

專門教育科目（2年）

【授業科目】 日本文学史(中・近世)

【担当者】 東 喜望

【開講期】 2 年 後期

【授業目標】 古代の文学を継承しつつ中世において新たに勃興・発展した文学はどのようなものであったか、そして中世文芸を克服しつつ近世において創造された文学はどのような特質を持っていたか、これらの問いを軸として考察をすすめ封建制化の文学の展開を跡づける。

【テキスト】適宜、講義資料を配布する。

【参考書】

授 業 計 画

講義の概要

I. 中世文学

1. 中世の特質
2. 中世文学の一般的傾向
3. 中世の散文文学——軍記物語の成立と発展
4. 中世の韻文文学——中世和歌の発展と衰微

II. 近世文学

1. 近世の特質
2. 近世文学の一般的方法
3. 近世の散文文学——浮世草子の成立とその新しさ
4. 近世の韻文文学——俳諧の成立と方法

【評価方法】出席を重視します。(この講座も今期で最後です。積極的に参加してください。)

筆記試験を実施し、評価の基本資料とします。

【授業科目名】 日本文学(古代)	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 2年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>女性による初めての仮名散文が、『日記』と呼ばれる形をとって、王朝期に隆盛を見るが、それはどのようなものなのか。まずは読んでみよう。そしてその主題と表現について考えてみよう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>前期『蜻蛉日記』はプリントを配布。後期『和泉式部日記』は、岩波文庫本を使用。</p>	
<p>【参考書】 授業時に紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>今期は、王朝日記の中から『蜻蛉日記』と『和泉式部日記』を取り上げる。かなり異質な二作品のそれぞれについて、主題的な特質と時代が抱える問題について考えていく。また和歌と散文の融合によって生じる、表現の特異性に注意し、その主題性との関連について検討していきたい。参考として二人の個人歌集についても取り上げる。</p> <p>最初に王朝和歌および王朝日記について概説をする。前期は『蜻蛉日記』、後期は『和泉式部日記』を主に、本文を紹介しながら扱い、王朝期の日記成立の意味を総合的に把握する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>成績評価は、レポートによる。</p>	

【授業科目】 日本文学(近・現代)	【担当者】 栗田廣美
-------------------	------------

【開講期】 2 年 前期・後期

<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">より深い「作品・作家」の理解めざして</p> <p>夏目漱石、耽美派(荷風・谷崎)、白樺派(武者小路・志賀・有島)、芥川龍之介、プロレタリア文学、モダニズム文学(横光・川端・堀)等の作家と、その作品について講義する。</p> <p>① 徹底して「<u>作品世界の中に入って考える</u>」こと(作品論)を目指すと同時に、②「<u>時代の中での作家の生き方をとらえる</u>」こと(作家論)の両方を目指したい。漱石と有島に重点を置く。</p>
--

<p>【テキスト】 教科書は用いない。1年間で3作品ほど(うち2作品は短編)を読むことが課題になる。課題作品は講義中に決定するが、「短大生として<u>ぜひとも読んでおくべきもの</u>」にする。</p>

<p>【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。特別に買う「義務」はない。</p>

授 業 計 画

<p>1 夏目漱石と、その作品について</p> <p>a 「漱石の作品は、どのように読まれてきたか」を考え、我々の先入観を対象化する【漱石研究史】。</p> <p>b 夏目<u>金之助</u>は、「近代日本の発展」の中で、いかに「<u>漱石</u>」になったかを考える【作家形成史】。 ……『吾輩は猫である』『坊っちゃん』に関する【作品論】にも触れつつ。</p> <p>c 漱石は、「近代日本」の社会と国家に対して、いかなる態度をとったか。……【漱石の思想の研究】</p> <p>d 『三四郎』と『それから』に関する【作品論】を中心に。</p> <p>e 『行人』と『こころ』に関する【作品論】を中心に。</p> <p>f 『明暗』に関する【作品論】を中心に。</p>	<p style="text-align: center;">だいたい、 こんな順序で 講義します。 進度によって、 省略する場合も あります。</p>
<p>2 「大逆事件」以後、昭和初期にいたる、日本近代文学の展開</p> <p>a 永井荷風と「耽美派」の文学……『腕くらべ』にも触れつつ。</p> <p>b 谷崎潤一郎と、『刺青』『春琴抄』。</p> <p>c 武者小路実篤と「白樺派」の文学。</p> <p>d 志賀直哉と、日本の「家制度」の問題。……『和解』を中心に。</p> <p>e 有島武郎・芥川龍之介の自殺と、日本近代文学の新たな展開。</p> <p>f 「革命の文学」の新鮮さ……小林多喜二と日本プロレタリア文学。</p> <p>g 「文学の革命」の可能性……横光利一・川端康成・堀辰雄。</p>	
<p>3 有島武郎と、その作品について</p> <p>僕(栗田)は青年期以後、ずっと「有島武郎研究」を続けてきました。有島武郎は、僕が、最も力をこめて講義したい、魅力あふれる思想家・作家です。ただ、学生諸君には多様な興味があるだろうと考え、上記「1・2」に時間の2/3以上を使い、有島武郎については、『或る女』等を中心に、ラスト1/3の時間に限って「熟っぽく語りたい」と思っていますが、それだけでは足りません。特に重要な、彼の「アメリカ・ヨーロッパでの青春」等については、独自に「比較文学」の講義で語ります。興味のある方は、ぜひ「比較文学」も受講して下さい。</p>	

<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験(ノート・プリント等、何でも参照可)。講義に基づいて「書く」形式。講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておけば、大丈夫。出席点・平常点を加味して、総合的に評価する。</p>
--

【授業科目】 漢文学	【担当者】 東 喜望
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】 中国古典文学の代表的な作品を精読し、作品の背景にある中国の思想や文化、歴史などについても理解を深める。</p> <p>作品は、日本の文学にも影響を及ぼした散文文学をとりあげるが、まず下記を精読することからはじめたい。</p> <p>鄭還古『杜子春伝』・瞿佑『剪灯新話』</p>	
【テキスト】 武蔵野書院刊・近藤春雄編『中国志怪・伝奇選』	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>授業の概要</p> <p>I. 講義 漢文学と漢文・漢文訓読の基礎</p> <p>II. 作品講読</p> <p>(1) 唐代伝奇小説『杜子春伝』</p> <p>(2) 明代小説『剪灯新話』、『牡丹灯記』</p> <p>III. 作品遺蹟の映像上映</p> <p>旧長安(西安)周辺遺蹟</p> <p>旧明州(寧波)周辺遺蹟</p> <p>IV. 講義 日本文学への影響</p> <p>(1) 芥川竜之介『杜子春』との比較論。</p> <p>(2) 牡丹灯記と翻案小説・講談。</p>	
<p>【評価方法】 出席を重視します(この講座も今期で最後です。積極的に参加すること)。</p> <p>筆記試験(テキスト持込み可)を実施。得点を評価点とする。</p>	

【授業科目】 日本中世史	【担当者】 西村汎子
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の中世というと「乱世」を思い浮かべる人が多いかもしれない。また、書院造の建物や茶の湯・いけばな・能狂言・お伽草子などの民衆文化が花開いた時代だと思う人もいるだろう。暗さと明るさが同居しており、今日とはだいぶ様相のちがう時代に、人々、ことに庶民たちはどんな暮らしをし、どんな思いを抱いていたか、考えてみたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <hr/> <p>【参考書】『大系日本の歴史』 6.内乱と民衆の世紀（永原慶二） 7.戦国大名（脇田晴子） 8.天下一統（朝尾直弘） 小学館 1981年</p>	
授 業 計 画	
<p>近年、中世史研究では、具体的な生活への関心が高まり、また神話・説話・絵巻物などから時代を復元しようとする試みが行われている。この講義でもそのような成果をとりいれつつ、授業をすすめていきたい。</p> <p>1.はじめに</p> <p>2.古代から中世へ</p> <p>(1) 浮浪人の大量発生</p> <p>(2) 領主制の成立</p> <p>(3) 平安時代の村落と民衆</p> <p>3.鎌倉幕府体制の成立</p> <p>(1) 治承寿永の内乱</p> <p>(2) 鎌倉幕府の成立</p> <p>(3) 地頭と農民</p> <p>4.下剋上の社会</p> <p>(1) 室町幕府体制</p> <p>(2) 土一揆と惣村の自治</p> <p>(3) 町衆と都市</p> <p>(4) 戦国大名の成立と太閤検地</p> <p>5.中世の民衆の意識と文化</p> <p>(1) 十五歳という年齢</p> <p>(2) 能狂言から</p> <p>(3) 日欧文化比較</p> <p>(4) すがた・かたちから</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">レポート</p>	

【授業科目】 日本近世史	【担当者】 西脇康
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本近世史を規定する基本的枠組みについてその大筋を論じた上、民衆史の視座に立ちながら具体的歴史事例を検討することを通じて、近世の男女関係に投影された歴史性について講義していきたい。</p>	
<p>【テキスト】 特に定めない。必要な文献については、適宜配布ないし指示する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(オリエンテーション)</p> <p>日本近世史への招待・・・・・・・・・・史料に見る近世男女の葛藤</p> <p>(近世史総論)</p> <p>日本近世史を規定する基本的な枠組み論として、次の講義を予定している。なお毎講、近世という時代を五感で体験できるビジュアルな教材を用意し、その導入としたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 兵農分離制・・・・・・・・身分制社会の成立 2, 石高制・・・・・・・・荘園公領制から大名知行制へ 3, 鎖国制・・・・・・・・通信国・通商国との外交体制 4, 官僚制・・・・・・・・特権身分の文書による統治 <p>(近世史特論)</p> <p>民衆史の視座に立った近世男女関係論として、次の講義を予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 婚姻風俗の一般的形態・・若者宿・娘宿・夜這い・媒酌・年寄・後家 2, 朱子学の思想から見た男女の道 ・・・・・・・・五倫・五常・七去・三従 3, 男女関係の諸形態・・・・・・・・恋愛・許嫁・媒酌・縁組〈嫁入り・婿入り〉・不縁 ・・・・・・・・離縁・駆落・出奔・心中・不義・密通・強姦 4, 階層別に見る縁組と離縁、家相続の実態 5, 家事労働における男女の歴史的役割分担 6, 刑法・民法における男女関係規定の歴史的差異 <p>(まとめ)</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>基本的には最後の時間の試験（自筆ノートと配付資料は持込許可）による。定期試験中にレポート提出（ただし任意）を課す。</p>	

【授業科目】 日本近現代史	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>私たちが今生きている現代社会は、多くの点で戦前の近代社会との関わりを強く持っている。そのことを意識しながら、幕末・維新の動乱を経て成立する日本近代の時代像を明らかにしてみたい。前期では、近代の原型を形作った明治の時代を、国内政治や対外関係を軸に特徴づける。後期は、大正デモクラシー状況の意味と限界を明らかにすることからはじめ、15年戦争へと帰結していく歴史の流れを追っていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p>	
<p>【参考書】 藤原彰・今井清一編『15年戦争史』Vol.1 など。他にも多数あるので講義中に逐次紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>前期は、近代化過程の特徴を大枠でとらえるために、次のようなことを主に取り上げて話しを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開国と「万国対峙」の国際環境 ・志士たちの群像－尊皇討幕と「船中八策」 ・上からの近代化－殖産興業と富国強兵 ・不平等条約と「脱亜」 ・日清、日露戦争と中国、朝鮮 ・民権、議会と明治憲法体制 ・護憲とデモクラシー ・I大戦と資本主義発展 <p>後期で対象とする大正期以降は、これ以前から始められていたアジアへの武力の行使がより大規模に行われる時期であり、その点を中心課題となる。この頃になると、文献や写真だけでなく、映像として多くの資料が残されているので、それらも出来る限り活用していきたい。主要なテーマは以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大正デモクラシーの意義と限界 ・総力戦としてのI大戦 ・経済、金融の閉塞状況とアジアへの活路 ・満鉄爆破と満州国 ・国防献金、慰問袋と軍国美談、愛国行進曲 ・映像に見る大陸の日本軍 <ul style="list-style-type: none"> 映画『戦友の歌－黄浦江』（昭和11年）、『南京』（昭和13年）、『支那事变海軍作戦記録』（昭和14年）、そして『戦ふ兵隊』（昭和14年） ・近代の帰結＝15年戦争の意味 	
<p>【評価方法】</p> <p>前期・後期のそれぞれ期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 近代と西洋思想	【担当者】 針谷 寛
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>近代社会を担い、推進してきた考え方について、その積極的内容の核心点を明確にするとともに、そこに含まれる問題点を批判的に検討する。この両面について自らの頭で考えていくための素材を提供する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しないが、必要に応じてプリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>参考書は講義のなかで紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>ドイツ近代の思想家カントヘーゲルの社会理論を素材として紹介しながら進める。</p> <p>フランス革命と同時代のドイツで、カントは近代市民社会の理念とその実現を追求した。個人の自己決定権から共同社会のあり方を構成していくカントの社会理論は、近代社会の大原則を明示している。つまり、前近代の共同体を核にして身分制的に編成された社会が維持できないことを認めるときに生じる——「ではどうすればよいのか」という——問題にたいする積極的な回答を、きわめて明瞭に表現したものである。</p> <p>ヘーゲルもまた、19世紀初頭のドイツにあって、ドイツを近代化することが不可欠の課題だと考えたが、その一方で近代社会の含む問題点もいち早く洞察し、両者の葛藤を理論的に解決しようと悪戦苦闘した。彼はカントの理論にもとづいてフランス革命のもたらした現実を見すえるなかで、個人の自立や自己決定という近代社会の基本原則が生み出す様々な問題にかんする具体的解決を追求した。そこであつかわれている内容は、現在の私たちの生活にとってもアクチュアルな問題（たとえば「私のもの」「私の世界」とは何か）を考える手がかりを与えてくれるだろう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートによる。</p>	

【授業科目名】アメリカ文学講読	【担当者】中島好伸
【開講期】2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>目標は二つある。一つは、ある程度複雑で長い英文を（辞書を使えば）読みこなすことができるようにすること。もう一つは、テキストとして使用するアメリカ作家の短編小説を複数読むことによって、アメリカ文学作品を原文で味わい、またその特徴を吟味すること。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>未定</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>はじめに英文の基本構造の確認をする。要は動詞である（英文には必ず主語があることも覚えておこう）。テキストの英文から動詞だけを抜き出してしまい、動詞の意味のチェックをする。長い英文をそのまま読もうとすると、挫折する。長い文章は短く切って、動詞（または動詞に相当するもの）を一つにしてしまう。この作業により、「AはBである」、「AはBする」の積み重ねにしてしまう。こうすれば、長い文章も恐くない。</p> <p>この方法論を理解してもらいながら、受講生に割り当てた箇所の解釈をしてもらう。最初は一人10行程度からはじめよう。担当の箇所は、上の方法論に照らして、徹底的に予習してもらい、授業の中ではすらすらと解釈を言ってもらおう（分かりません、やってませんは許されません。担当者の欠席は問題外）。</p> <p>特に読む上で必要な知識（文法等）は、毎時間プリントにて説明する。しばらくすると、英文を読むのに必要な文法はそれほど多くはなく、同じことに繰り返してあることに気付いてくるはず。こうなればしめたもの。</p> <p>英文を読めるようにする作業は、週1回の授業だけで修得できるものではない。授業を通して読むことの面白さが分かってきたら、自主的に英語の作品を読み漁って欲しい。</p> <p>そうすることで、英文を読む作業を越えて、文学作品の鑑賞へと進んでいけることでしょう。</p> <p>あとは、前週に読んだところを復習しながら先へ先へと読み進んでいく。不断の努力と継続的な出席、これが大切である。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートと出席点で評価</p>	

【授業科目】 英語表現Ⅱ	【担当者】 ライラ・コルースイ
【開講期】 2 . 年 前期 ・ 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>生徒が英語で自己表現や意見をスムーズにディスカッションをできるようになること。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】</p> <p>配布のプリント。英和-和英辞典</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 5分のスピーチとその話題のQ&A 2. 日本語の文を英語に訳してディスカッション 3. テープを聞いて内容についての意見 	
<p>【評価方法】 この授業の評価は出席と積極的な参加と習った内容について後期末の聞き取り試験30%ずつにもとづきます。</p>	

【授業科目】 イギリス文学史	【担当者】 田中安行
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>イギリス文学の大きな流れを理解しながら、各時代の特徴的な作品を取りあげてその時代の人々の生活や考え方、社会思想、時代背景などを考えていく。イギリス文学を学ぶことによって私たち日本人の考え方や生き方を別の視点から眺め、新しい時代と社会に必要な人間性について考える。</p> <p>[テキスト・参考書] 相島倫嘉「イギリス文学の流れ」＜新訂版＞南雲堂、1995年 G・C・ソーンリー「概説イギリスの文学」桐原書店、1995年 川崎寿彦「イギリス文学史入門」研究社出版、1992年 パット・ロジャーズ「図説イギリス文学史」大修館書店、1990年</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 各時代が生み出した特徴的な作品を翻訳又は原文で紹介しながら、その時代背景とそれらの作品が生まれた必然性を考える。 2. 詩、戯曲、小説など文学作品の各ジャンルの歴史と特徴を学びながら、イギリス文学の発展の跡を辿りそれらが現代のわれわれとどのように関わっているかを考える。 3. つねにイギリス文学の本質を考えながら、多くの文学者、詩人、劇作家に触れてそれらがイギリス人の人間形成やまた広く日本を含めて世界の文化にどのように関わっているのかを考える。 4. ビデオやCDなどの視聴覚教材を利用して、イギリス文学史に関係のある作者や風物、歴史的な事件などを鑑賞して視覚的、音声的にもイギリス文学の面白さと奥の深さを味わえるようにする。 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点とレポートで行う。</p>	

【授業科目名】アメリカ文学史	【担当者】中島好伸
【開講期】2年後期	
<p>【授業目標】 アメリカの代表的な文学作品を時代別に分析しながら、アメリカ文学の流れとその特徴を明らかにするとともに、文学作品の中に表れたアメリカを見ながら、アメリカという国についてその真実に迫ってみる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 プリントを使用</p>	
授 業 計 画	
<p>アメリカの歴史を7つの時代に区分し、それぞれの時代に1～3作家（作品）を取り上げ、その時代の歴史的背景や文化的背景を取り込みながら、作品解釈を行い、その特徴に迫ってみる。その際、テキスト内部だけから分かること、歴史的伝記的読みから理解できることを区別しながら、文学作品の読み方、解釈の仕方にも触れてみたい。そうすることで、文学作品を読む喜びを知ると同時に、アメリカという国の持つ魅力と問題点に迫れるだろう。また、言うまでもなく、文学作品は読んで初めて意味をなすもの、できるだけ以下に取り上げる作品は読んでほしい。</p> <p>0) 文学の方法とアメリカの基礎知識</p> <p>1) 独立革命時代：ベンジャミン・フランクリン『フランクリン自伝』（岩波文庫）</p> <p>2) アメリカン・ルネッサンス：ナサニエル・ホーソーン『緋文字』（岩波文庫）</p> <p>3) リアリズム：マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』（岩波文庫）</p> <p>4) 自然主義：セオドア・ドライサー『シスター・キャリー』（岩波文庫）</p> <p>5) 20年代：スコット・フィッツジェラルド『グレート・ギャッツビー』（新潮文庫） ：アーネスト・ヘミングウェイ『日はまた昇る』（新潮文庫）</p> <p>6) 30年代：ジョン・スタインベック『怒りの葡萄』（新潮文庫） ：ウィリアム・フォークナー『八月の光』（新潮文庫）</p> <p>7) 第二次世界大戦後：J. D. サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』（白水社） ：アリス・ウォーカー『カラーパープル』 ：トニ・モリソン『ピラヴド』</p>	
<p>【評価方法】 レポート（出席は3分の2以上が条件）</p>	

【授業科目】 西洋文学思潮	【担当者】 村山知恵
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本は今、不況のただ中にあり、これから大学を巣立っていく皆さんの社会環境は決してよいものではありません。女性が社会人となる時に、今日でも受けるであろう差別を、西洋文学の作品の中から学び、女性として生きることを一緒に考えて行きたいと思います。今回も3作品選びました。どの作品の女性も、あなたがたと変わらない年齢から、成長していきます。自分と重ね合わせて考えることができたらいよいと思います。</p>	
<p>【テキスト】 「悲しみよこんにちは」：フランソワーズ・サガン 新潮文庫 「カラー・パープル」：アリス・ウオーカー 集英社文庫 「シスター・キャリー」：セオドア・ドライザ 岩波文庫</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>「悲しみよこんにちは」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 この作品の生まれた歴史的背景を学びましょう。 2 この作品の作者、サガンの歴史を知りましょう。 3 サガン18歳のときの作品であるこの小説を、同じ年頃の皆さんとともに考えたい。 最後にビデオ鑑賞をします。 <p>「カラー・パープル」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 この作品の生まれたアメリカの歴史を振り返ってみましょう。 2 作者アリス・ウオーカーの歴史を知りましょう。 3 黒人であり、女性である主人公の差別の体験をともに考えてみましょう。 最後にビデオ鑑賞をします。 <p>「シスターキャリー」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 同じアメリカでも、白人社会が主に描かれています。現代日本と同じような状況のアメリカの歴史をここでは振り返ってみましょう。 2 男性の作家セオドア・ドライザの歴史も知りましょう。 3 作品の主人公とほとんど同じ年頃の皆さんが、成長していく主人公をどう捉えるか、あなたがたの将来を思いやりながらともに考えたいと思います。 最後にビデオ鑑賞をします。 	
<p>【評価方法】</p> <p>各作品に関するレポートによる評価</p>	

【授業科目名】 芸能史

【担当者】 高橋秀雄

【開講期】 2 年 後期

【授業目標】 芸能ということばは、今日、もっとも広く用いられ、およそ肉体による演劇的、舞踊的、音楽的表現を総称するが、本来の芸能ということばの語義を再確認するとともに、その歴史的な変転を詳しく探究することとする。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書：各種芸能関係書（その都度指示する）

授 業 計 画

芸能とは何かという命題を考究しながら、芸能の本質を明らかにし、さらに芸能事象の内容を分析し、それが史的にはどのように展開していったのかについて論述する。

1. 芸能の語義
2. 芸能ということばが包含する内容
3. 芸能の種類分類
4. 芸能伝承論
5. 芸能史としての存立
6. 祭りと芸能
7. 民俗芸能論 — 神楽
8. 民俗芸能論 — 田楽
9. 民俗芸能論 — 凡流
10. 現代芸能論

【評価方法】 1. 期末のレポート
2. 授業時の小レポート
3. 授業時の平常点 } 左記3項による総合評価

【授業科目】 映像文化論	【担当者】 長崎一
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>映画は学生諸君にとっては、娯楽であるとともに人生の指標となるものである。本講によって映画の素晴らしさを認識してもらいたい。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>映画が誕生してすでに一世紀余となった。今日ではテレビを中心とした表現媒体にも応用され、映像は人々の生活に欠くことのできないものとなっている。</p> <p>本講では改めて映画の誕生を振り返り、活動写真として庶民の圧倒的な人気を獲得したものが、百余年の歳月間にトーキー、色彩、ワイドスクリーンと発展した過程を取り上げ、映画がいかに社会文化に影響を与えたかを具体的な作品を紹介しながら述べていきたい。</p> <p>また有名監督や映画俳優などの興味深いエピソードにも触れてみたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況とレポートによる採点とする。</p>	

【授業科目】 比較文学

【担当者】 栗田廣美

【開講期】 2年 後期

【授業目標】

ほんとうの「国際人」とは、どんな人か？

アメリカ (とヨーロッパ) から、日本文化(文学・芸術)が見える！

アメリカとヨーロッパへの「ソクソクするような憧れ」と「苦しいコンプレックス」。
その中で、私たち日本人は、自らの文学・芸術・思想を生み出してきました。
アメリカで青春をすごした有島武郎 ——このナイーブな作家・思想家を軸に、「ほんとうの国際人」を考えます。

【テキスト】

教科書は用いない。必要に応じ、プリントを使用する。

【参考書】

栗田廣美著 『亡命・有島武郎のアメリカ ——どこでもない所への旅』 (右文書院・刊)
購入することが望ましいが、本学図書館(参考図書コーナー)にもあります。参考部分を指定します。

授 業 計 画

教養科ならではの専門科目らしく、
広い国際的視野から、しかも現代的なアプローチで、
〈日本文化・日本文学〉を考える構想を抱いています。

- 「アメリカ・ヨーロッパ」と日本近代文学……私たちのいまだ「憧れ」と「コンプレックス」の正体は？
 - 日本文化史の中でも、特に「奇妙な時代」に、我々は生きている。
 - 「英語名人」の時代と「アメリカ」のイメージ……岡倉天心・内村鑑三・新渡戸稲造と、それ以後。
 - 「使命感」と「西洋へのコンプレックス」の間で……森鷗外と夏目漱石。
- 有島武郎と「アメリカ・ヨーロッパへの憧れ」
 - 横浜と札幌……「アメリカ・ヨーロッパ」に接し続けた生い立ち(童話「一房の葡萄」にも触れる)。
 - 「聖書」の魅力……キリスト教入信と離教。
 - 「若きウェルテルの悩み」……「激しい片恋」と「別世界」への憧れ。
- アメリカでの有島武郎
 - ドイツ文学と「中世ヨーロッパ」への逃避……フィラデルフィアとハヴァフォード大学。
 - 虚構の美少女「リリー」とダンテの『神曲』……フレンド精神病院の森の奥で。
 - ホイットマン、イプセン、そしてアメリカ社会主義……ハーバード大学。
- ヨーロッパでの有島武郎と永井荷風
 - 森鷗外・夏目漱石の「新しきヨーロッパ」と、永井荷風・有島武郎の「古きヨーロッパ」
 - 永井荷風のフランスと、有島武郎のイタリア・スイス・ドイツ、そしてパリ・ロンドン
『クララの出家』(イタリアの聖地アッシジ/聖フランシスコと聖クララの物語)にも触れる。
- 「アメリカ・ヨーロッパ」との関連の中で、現代日本の文化をどう見るか

「比較文学」という学問は、民族・言語の違いを越えた「作品間の影響関係」を探る学問として生まれました。しかし、最近では、狭い「文学の影響関係研究」だけにとどまらず、「より広い文化交流全般の中でとらえなおす」方向に、急速に発展しつつあります。本講は、この最新の研究動向にのっとり、しかも、あくまでも「欧米近代文明が世界を支配してきた」という現実的力関係を見据えた、「闊う比較文学」を目指します。そのことで、文化(文学もその一分野)の、真の国際交流の可能性を探りたいからです。

【評価方法】 筆記試験(ノート・プリント等、何でも参照可)。講義に基づいて「書く」形式。

講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておけば、大丈夫。

出席点・平常点を加味して、総合的に評価する。

【授業科目】 東洋文化史	【担当者】 山口 洋
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>中国の歴史を中心に「東アジア世界」の諸相を概観する。また、具体的な歴史事例をもとに、歴史研究の方法と歴史的批判精神を身につけることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>寺田隆信著『物語 中国の歴史：文明史的序説』（中公新書：1353） ￥800円</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>テーマ 中国の歴史と文化</p> <p>中国は、東アジア世界の中心に位置することから、古来より周辺諸国と政治・文化の交流があり、そこには融合と摩擦が生じてきた。本講座では、東アジア世界に大きな影響を与えた中国の歴史について、政治・社会・文化の中から、その担い手であった人々の事跡を抽出して考察し、中国および東アジアにおける文化とその交流について概観する。</p> <p>授業においては、出土品や図版等のビジュアル資料も紹介する。</p> <p>開講時にアンケートを行うので、受講生は何を知りたいのかを考えてくること。</p> <p><u>I 歴史学とアジア</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中国の歴史書と歴史家（・歴史書と史官・歴史事実と歴史小説） 2 書物の歴史（・紙発明以前の書物・紙の発明と印刷技術の発明） <p><u>II 中国の歴史</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 3 皇帝の始まり（・始皇帝の登場・果たして皇帝は絶対君主なのか） 4 科挙と学問（・官吏登用制度の変遷と試験地獄） 5 対外交流と中華思想（・朝貢とは？・シルクロード・遣唐使一日中関係の一斑） 6 中国の宗教（・民衆の宗教－道教・西域伝来の宗教・宗教と政治権力） 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートと筆記試験を総合的に評価する。</p> <p>なお、レポートについては開講時に説明するので必ず出席すること。</p>	

【授業科目】 現代日本政治	【担当者】 梅田欽治
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代日本政治の基本問題を理解して、私たちの身近な「政治」について関心をもち、世界と日本の政治動向に興味をもてるようになること。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業のなかで資料を配布し、参考文献を紹介します。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現代日本政治の基本は「日本国憲法」と「日米安全保障条約」です。この両者をそれぞれ深く理解することによって、現在の日本の政治・経済、そして社会がみえてきます。また、アジアも世界もみえてくるのです。ところが、学生諸君はこれらの初歩的なこともわかっていないのが実情です。これでは、一人前の成人、いわんや一人前の主権者とはいえません。学生諸君の質問に答えながら、ひとつひとつ疑問を解いていくことにします。専門の授業ですが、気軽に受講してほしいと思います。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と定期試験で評価します。</p>	

【授業科目】 日本女性史	【担当者】 西村汎子
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>女性がさまざまな障害をのりこえて、真に人間らしく生きていく展望を得るために、過去の女性の歴史を振り返ってみることは重要であろう。半年の課程なので、原始から近世までの前近代の女性史を中心とし、近代以降には簡単に触れる予定である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『日本女性の歴史—性・愛・家族』総合女性史研究会編 角川書店</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>男性と比較しながら、各時代の女性の役割と地位、財産権、家族関係、道德観、理想像などに注目し、たくましく生きた女性の生涯についても、できるだけとりあげたい。当時の法令、日記、文学、絵巻物などを通じて、女性たちの生活を考えていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原始女性は太陽であった—原始の平等生活 <ol style="list-style-type: none"> 1) 男女平等時代の存在 2) 性別役割分担 3) 性差別を生まない理由 4) 婚姻・家族関係 5) 神話の中の女性像 2. 性差別の始まり—古代の家族生活 <ol style="list-style-type: none"> 1) 律令制度と家父長制 2) 財産相続 3) 万葉集にみる民衆の生活 4) 平安貴族の妻の生活 5) 紫式部はなにをいいたかったか。 3. 嫁取り婚への動き—中世の女性たち <ol style="list-style-type: none"> 1) 家業の継承と家父長権の強まり 2) 男女の協力と役割分担 3) 分割相続と後家の権限 4) 婿入りから嫁入りへ 5) 室町戦国期の庶民の女性像 4. 封建道德の確立期 <ol style="list-style-type: none"> 1) 女性の労働 2) 「家」と女性の経済的地位 3) 婚姻形態 4) 買売春—公娼と私娼 5) 女性の理想像—女大学・滑稽本 5. 近現代の女性解放 <ol style="list-style-type: none"> 1) 明治民法下の女性 2) 戦後の女性解放 3) 男女雇用機会均等法制定以後 	
<p>【評価方法】</p> <p>期末テストによる。あらかじめ提起した課題の中から出題する。</p>	

【授業科目】 現代女性論	【担当者】 井野上真弓
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>今日、女性を取り巻く社会環境は大きく変化し、多様な生き方が可能となっている。そこで、今後、女性がそれぞれの能力を生かしながら、自分の人生を自立して生きていくためにはどうしたらよいのかを考察していく。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>参考書は授業を進める過程で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>近年、女性を取り巻く状況は大きく変化し、女性の生き方も多様化してきている。男女雇用機会均等法や育児休業法が施行され、女性の社会進出が進んだ。しかし、法的には男女平等が達成される一方で、伝統的性別役割分業における社会システムや「女らしさ」の概念が依然として存在している事実は否めない。このことが今日の女性を取り巻く問題を複雑化させ見えにくくしているのであり、さらには、女性の自立をも阻んでいる。本講では、このような社会状況の変化のなかでの女性の問題の広がりや女性の置かれた状況を理解し解決への方向性を探るために考察を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性の権利の歴史 2. 女性の自立と性別役割分業 3. 男女平等を求める世界と国内の新しい動き <p>なお、講師の側からの一方的な講義だけではなく、女性問題に関する新聞記事やビデオを素材にしたディスカッションも行う。受講生には討論に積極的に参加するよう心がけていただきたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート他</p>	

【授業科目】 現代女性論	【担当者】 駒川智子
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>女性の勤続年数は長期化しており、上級管理職へ登用される女性も現れ始めている。しかし依然として結婚・出産退職する女性は多く、仕事と家庭の両立が困難であることをうかがわせている。本講では、企業と家庭の二つの側面から女性が働く上での諸問題を考察し、これらの問題を乗り越えるために必要な事柄について考えていく。</p>	
【テキスト】	
<p>.....</p> <p>【参考書】</p> <p>参考書は授業を進める過程で紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>前半では、日本企業における雇用管理に着目し、企業内での女性労働者の役割やそこから派生する諸問題を考察する。そして近年、多くの企業で取り組まれている「女性活用」の内容を紹介し、それらが女性労働者に与える限界と可能性を見た後、パートタイマーや派遣社員等の非正規雇用者として働くことの問題点を論じる。</p> <p>後半では、家庭生活が女性労働に与える影響に焦点をあて、家事・育児・介護と女性労働の関係について考える。そして企業内、家庭内の性別分業がもたらす諸問題を取り上げ、性別分業を乗り越えるための施策と現実におこりつつある変化を考察する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート他</p>	

【授業科目】 文化人類学	【担当者】 白井和子
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>異文化を知ることや異文化を理解するとはどういうことか、考える。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>須藤健一 『母系社会の構造 サンゴ礁の島々の民族誌』（紀伊國屋書店）</p>	
授 業 計 画	
<p>同じような自然環境にもかかわらず人々が異なった様式の生活を営んでいる一方で、違う自然環境の人々が同じような生活様式を営んでいることは、印刷物やテレビなどのマスメディアを通して知られています。また旅行などで実際に身をもってそれらを体験している人々も多いことでしょう。しかし、そのような情報や体験が実は表面的な理解や知識にとどまっていることがしばしば見受けられるようです。では、自分が身につけている文化とは異なる文化を、興味本意に取り上げることにと終始することなく、理解することができるのでしょうか。もし理解することができるとするならば、どのようにして理解するのでしょうか。講義では異文化を理解する思考と方法の一つの例として、文化人類学者のおこなうフィールドワークについて考えたい。</p> <p>ところで、カルチャー・ショックという言葉を知っていますか。生まれ育った土地を離れてよその土地で暮らしていると、それまで当然のことと思っていた常識が全然通じなくて、精神的に落ち込んでしまうことがあります。自分が依ってたつ諸価値に揺さぶりがかかっているわけです。このようなカルチャーショックを受けることが、異文化理解への最初の一步と言えるのかもしれませんが。自分の常識が覆され、生活感覚がひっくり返り、生活経験がひろがっていくこと、そして人間とは何かという問いかけに戻っていくこと、これが文化人類学の楽しみの一つのようです。少し苦い味のする楽しみではありますが。</p> <p>本年度は、母系社会の民族誌をもちいて社会構造について講義をおこないます。特定の民族の文化や社会について調査・研究し、それをまとめたものを民族誌といいます。母系社会は世界各地にみられますが、講義では主に太平洋の島々の民族誌をひもときながら母系社会の社会構造について紹介します。文化人類学において社会構造という用語は、何をさしているのか。また、母系社会はどのようなしくみをもった社会なのだろうか。そこで人々はどのように暮らしているのだろうか。このような疑問が講義を通じて解決されます。</p>	
<p>評価方法 出席は取らない。原則として学年末の試験の成績を評価の対象とする。ただし授業中に見るビデオなどについて感想文や意見文を書いてもらうことがあり、そのような小文を評価に加えることはありうる。</p>	

【授業科目】 社会思想史	【担当者】 針谷 寛
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>さまざまな思想がその時代のなかでもった意味を考えることによって、逆にその時代の独自の姿と問題をつかむ手がかりとする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しないが、必要に応じてプリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>参考書は講義のなかで紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>19世紀ドイツは近代社会への大きな転換期である。この講義では、ドイツ19世紀の前半と後半から二人の思想家を主たる例に取りあげ、彼らの活動や思想を素材として紹介しながら、それをとおして、ドイツ近代化にともなういくつかの問題を検討する。ここで取りあげる思想家はいわゆる大思想家ではない。むしろ「独学」のなかから、それなりの仕方と到達した、その限りでは一面的で主観的色彩の強い人々である。しかし、それだけ自らの生活と時代の現状とに直結したところから、理論的問題も発しており、彼らの理論を求める内的欲求の切実さが理解しやすい例と思われる。ひとは、ユダヤ教／キリスト教の救済史と社会主義の問題に哲学的に取り組んだ近代ドイツ最初期の社会主義者のひとりモーゼス・ヘスであり、他のひとは手工業職人（貧しい皮なめしの親方）の「哲学者」ヨーゼフ・ディーツゲンである。</p> <p>講義では、まず前提としてドイツ近代化の見通しを概観し、ヘスとディーツゲンの生涯の概略を紹介する。その後、両者の理論を適宜組み合わせながら、理論内容について検討する。さらに、理論的問題と彼らの生活を素材として、この時代のいくつかの特徴にふれてみたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートによる。</p>	

【授業科目】 西洋史	【担当者】 増谷直子
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>「国民国家」という枠組が近代ヨーロッパにおいて形成されていく過程を主にフランスを例に明らかにしながら、「民族」「国民」「ナショナリズム」とは何なのか歴史のなかで考察する。そして「民族紛争」は避けられないのか、などについてユーゴスラヴィアの解体と内戦をたどりながら共に考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>指定しない。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>講義のなかで紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1) 絶対王政期のフランス—法体系も税制も言語もバラバラな社会 2) 均質的社会へ—フランス革命は何をもたらしたか 3) 「フランス国民」という帰属意識はいつ芽生える始めるのか 4) フランスのなかの地域性—独自の言語・文化 5) 国民統合の進行—政治参加の意味・教育の役割・戦争 6) 「国民国家」モデルの輸出—ドイツ・イタリアの場合 7) 東ヨーロッパへのナショナリズムの輸出—東ヨーロッパのエスニシティ 8) 第1次世界大戦の戦後処理と東ヨーロッパの新しい国境 9) 多民族によって構成されたユーゴスラヴィアの民族問題—1918~45 10) 第2次大戦後、その問題はどのように解決しようとされたか 11) 冷戦終結後の展開—なぜユーゴは解体し、内戦が開始していくのか 12) 「民族」「帰属意識」の可変性・歴史性 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業時に提出を求める小レポート、学期末のレポートによる。</p>	

【授業科目】 国際関係論

【担当者】 平井文子

【開講期】 2年 前期

【授業目標】

テーマは中東問題

国際問題としての中東問題を、同地域への歴史、社会、経済、文化、宗教を
知ることでより理解する。

【テキスト】 指定のテキストは使用しない

【参考書】

大岡隆一『パレスチナ』(若菜新書)、高橋和夫『アラブとイスラエル』(講談社) 他

授 業 計 画

1. 中世：進んだイスラーム、アキハトヨ-ルバ

2. 近代：ヨ-ルバの進出と中東・イスラーム世界の崩壊過程
ナポレオンがエジプト進出、アラブのローレンス、中東諸国の誕生
ユダヤ人のパレスチナ移住

3. 現代 I

第2次世界大戦以後：イスラエルの誕生、パレスチナ問題
中東石油をめぐり米、英、仏の戦略、米ソ対立と中東世界
第3次中東戦争

4. 現代 II

石油危機以後：第4次中東戦争、開発主義への転換
湾岸戦争、中東和平プロセス、イスラーム復興主義

以上の順に講義を進め、途中に必要に応じてビデオを見る。

【評価方法】

レポート

【授業科目】 アジア・アフリカ論	【担当者】 佐藤いづみ
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>東南アジアの前近代を、アジアの交易網の広がりを描くことで理解し、近現代では、東南アジアにおける植民地支配とそれに抵抗して生まれた民族運動を取り上げ、日本との関係に重点を置いて理解する。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】 高良倉吉著『アジアの中の琉球王国』 1998. 吉川弘文館 吉川利治編『近現代史の中の日本と東南アジア』 1992.</p>	
授 業 計 画	
<p>東南アジアの歴史は、高校の授業でもあまり触れられません。しかし、次の2つの点から東南アジアの歴史を学ぶことには大きな意味があります。</p> <p>第一に、前近代のアジアに広がっていた「海のシルクロード」と呼ばれる交易網と、拠点である港市国家を知ることは、現代の国境に囲まれた「国民国家」とは違った世界の存在を知り、また今日の東南アジアの「多様性」を理解することにつながります。</p> <p>第二に、東南アジアの人々の植民地支配からの独立運動と日本との関係を具体的に知ることは、「大東亜共栄圏」を肯定する議論との関係で重要な意味を持っています。</p> <p>①オリエンテーション…… “アジア” とは？ “東南アジア” とは？ 何故「アジア・アフリカ論」なのか？</p> <p>②東アジア前近代社会の交易体制…… 「琉球王朝」と「日本人町」に注目して。</p> <p>③中国の支配を受けた大陸部東南アジア …… 「漢字文化圏」の広がりを理解する。</p> <p>④「港市国家」の島嶼部東南アジア…… ヒンドー化とイスラム化</p> <p>⑤欧米列強諸国の植民地支配と人々の暮らし ・インドネシアの強制裁培 ・メコンデルタ、イラワジデルタ、チャオプラヤデルタの米作輸出地帯化</p> <p>⑥植民地支配に抵抗する運動 …… ・伝統的社会的権威による抵抗 ・改革派と日本留学運動 ・コミュニストの抵抗運動</p> <p>⑦東南アジアの教科書に書かれた「大東亜共栄圏」 ・シンガポールの場合 ・ベトナムの場合</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>講義中、「まとめと疑問点」のミニレポートを何回か提出してもらいます。 期末にこれらのミニレポートから課題を設定して、レポートを制作します。</p>	

【授業科目】 書道 I

【担当者】 小峯恭子

【開講期】 2 年 後期

【授業目標】

毛筆・硬筆両面から文字を正しく整えて速く適切に書く実技能力を高めることを目標とする。

【テキスト】

【参考書】

『書の話 第1巻』 上田桑鳩著 教育図書研究会

授 業 計 画

書写(実技)を中心とする。日本と中国の数多い古典の中から代表的なものを取りあげ、これを参考にしながら漢字(楷書・行書)と仮名の実習を行う。まず写実的臨書を、次いで応用の創作を行う。実用書にも目を向ける。

初講時には授業の進め方について具体的な話をするので硬筆(10マスシート使用)の用意をして必ず出席のこと。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 硬筆基本 | 7. 仮名基本 |
| 2. 九成宮醴泉銘 | 8. 俳句 |
| 3. 孔子廟堂碑 | 9. 寸松庵色紙 |
| 4. 雁塔聖教序 | 10. 年賀状 |
| 5. 顔勤礼碑 | 11. 創作 |
| 6. 集字聖教序 | 12. 硬筆まとめ |

【評価方法】

平常点, 授業態度, 出席重視

【授業科目】 教養演習Ⅱ

【担当者】 東 喜望

【開講期】 2 年 前期・後期

【授業目標】 1年次に同じ。

【テキスト】 角川文庫『古事記』

【参考書】 石田英一郎『桃太郎の母』、『東西抄』
谷川健一『白鳥伝説』ほか。

授 業 計 画

今年はいじめに、学外研修の準備のための研究を行う。
次いで、1年次報告を残している課題からとりあげること
にする。

1. 学外研修準備ゼミ—(1)南島の民俗と文化
(2)沖縄の歴史

2. 研究課題

- (1)南島の霊洞信仰と太陽信仰
- (2)沖縄の民話
- (3)奄美・沖縄の口説
- (4)沖縄の叙事歌謡(アヤゴ)
- (5)ヤマト(大和)の英雄叙事詩
——ヤマトタケル(日本武尊)
——吉備津彦と桃太郎

【評価方法】ゼミへの参加・研究態度・報告(発表)内容。
ゼミ試験またはレポート。

【授業科目名】 教養演習II	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 2年 前期・後期	
【授業目標】 一年次の学習の上に立ち、『源氏物語』第二部（若菜上～幻）の研究を行う。六条院の内部崩壊という主題と関わって、物語の方法が大きく変わる。盤石なはずの六条院はなぜ崩壊するのか。どう崩壊していくのか。紫上の心理展開の解明を中心課題としつつ、仕組みられた手法について考えていく。	
【テキスト・参考書】 テキスト、参考書については、最初の授業で指示する。	
授 業 計 画	
<p>〔前期〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、二条院・二条東院から六条院へと、物語の場は拡大している。この二条と六条の距離が、第二部の構想を支えることになる。先行論文を読みながら、場の確認をするところから始める。 2、（5月、京都へ研修旅行。源氏物語に関連する場所を実地に見て“土地勘”を得る。事前準備とまとめ。各自・あるいはグループで、テーマを持って臨む） 3、きわめて読みにくいところであるが、「若菜上」をとりあげる。第一部の過去が呼び戻され、様々な捉え返しが行われる巻である。その中から、新たに登場する女三宮の未熟な個性が、六条院体制（紫上・光源氏）を相対化してゆくことになる。 4、授業の進度を越えて、「若菜下」まで目を通すことが課題となるので、そのつもりでいてほしい。 <p>〔後期〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、第二部最後の「幻」巻を読む。「若菜」巻の時期を含む過去が、退場寸前の源氏の目から、さらに捉え返される。これを批判的に検討することで研究のまとめをしてゆきたい。 2、第三部十三帖がなぜ書かれなければならなかったのか、第二部が抱えたままの問題があるはずである。授業では触れえないが、各自第三部を課題としてほしい。 	
【評価方法】 定期試験時レポートによる。	

【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】 ————— 2年次の目標</p> <p>1年次に養った「文学の魅力を深く味わえる能力」を基礎に、 いよいよ、<u>学問としての 文学研究の方法</u> を身につけ、 「もう一つの別世界=作品世界」の秘密を探る。 また、「時代の中での作家」の問題も考える。</p>	
<p>【テキスト】 「教科書」は用いない。 ゼミの進行にあわせて、順次、指定された本（安価な文庫本）を購入する必要がある。</p>	
<p>【参考書】 必要に応じ、演習中に紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p style="text-align: center;">諸君が卒業論文で取り上げる作品を中心に、 専門家を書いた研究論文も含めて学びつつ、 文学研究の方法上の問題 について、より深く考え、身につける。</p> <p style="text-align: center;">作品世界の内部構造を探る「作品研究」を中心に進めるが、 （時間的に可能ならば）「作家研究」にも挑んでもらう。</p> <p style="text-align: center;">「文学研究」には、学問としての厳密さと客観性が必要である。 しかし、文学研究の基礎が、あくまでも 「自分の自由なイマジネーション」であることを忘れないこと。 なぜなら、 文学研究の「研究対象」自体が、 「紙に書かれた字の集まり」ではなく、 われわれ読者、一人一人の中に浮かぶ、 「それぞれのイメージ世界」 だからである。 「この現実」とは別の「もう一つの別世界」を研究することは、 我々が厳しい現実の中で生きて行くうえで、極めて大きな力になる。 「別世界を知っている」ということは、自らを囲む狭い「現実」を、 相対化しながら見る「足場」を持つことだからである。</p>	
<p>【評価方法】 平常点を主に、筆記試験（ノート、書物等、何でも参照可）を加味する。 ゼミに<u>真面目</u>に参加し、<u>努力して読み続ければ</u>、大丈夫、「A」は確実！</p> <p style="text-align: center;">ダラダラ怠けてしまえば、結果は悲惨</p>	

【授業科目名】 教養演習Ⅱ「日本伝統文化史」2

【担当者】 高橋秀雄

【開講期】 2年 前期・後期

【授業目標】 1年次で学んだ日本芸能文化の特徴と内容をさらに分析し、それぞれに設定した主題を探究する。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書：各種芸能文化関係書(その都度指示可)

授 業 計 画

1年次に習得した結果を基本として、自ら追求したいテーマを選び、これについての研究を進める。それぞれのテーマのうち共通するものについては、必要に応じてグループによる報告と討論を行ない、個別的なテーマについては調査、研究の成果を報告し、質疑や討議を重ねて研究成果をまとめあげる。

【評価方法】

1. 演習時のレポート
2. 演習時の平常点

} 左記2項による総合評価

【授業科目名】 教養演習Ⅱ	【担当者】 中島好伸
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>アメリカ文学作品を原文で読みながら、英語で読む力と文学作品の読み方を身につける。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>J.D.Salinger <i>The Catcher in the Rye</i> (Bantam) 森川展男『サリンジャー』（中公新書、1998）</p>	
授 業 計 画	
<p>1年次に引き続き、J.D.Salinger の <i>The Catcher in the Rye</i> を原文で読み続けることから始める。</p> <p>1年次に試みた素朴な感想から作品のテーマを考え出す方法を印象批評という。とりあえずは原文が読み終わるまでこの印象批評を続けてみる。</p> <p>確かに語り手ホールデンの性格は矛盾だらけでつかみ所がないように見えるが、ホールデンも一人の人間であるから、何らかの統一性があるのではないのか。印象批評を卒業するためにも、原文が読み終わったら、「語り手」の性格分析に進んでみたい。そのためには、彼の好き嫌い、行動をみんなで協力しながら図式化してみよう。そこから何かが分かってくるはずである。</p> <p>さらに、テキスト内の時間、場所、人間関係に注目していき、テキストの内在分析をする。</p> <p>すでに、我々は、この作品が1951年に出版されていることを知っている。したがって、時代背景は第二次世界大戦直後ということになるが、視点をテキストの内部から外へ、すなわち歴史的背景を学習しながら、テキストを分析してみる。これを歴史的社会的分析（外在分析）と言うが、アメリカ史、作者の伝記、作者の他の作品との比較を通して、この作品の興行きを探る。</p> <p>ある意味で、歴史的社会的分析もそうであるが、他の学問分野を導入する批評方法もある。例えば、心理学や認識論。出来れば、このような応用も試みたい。</p> <p>その上で、多くの研究者が書いた <i>The Catcher in the Rye</i> に関する論文を読む。ここまで来れば立派な文学研究である。</p> <p>このような作業は必ずや卒業研究に役立つに違いない。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートとゼミ内発表に出席、平常点を加味して評価する。</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1 年次の蓄積を生かし、とくに後期の卒業研究を軸に個々のテーマを深く掘り下げる ことが目標となる</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>メンバーと相談して決める</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じその都度紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>共通したテキストを決めて読みあわせていくが、それぞれのテーマを設定し、追求することが重要で、できるだけそれに沿った報告の方法を考えたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>毎回の報告と時々の小レポートで評価する</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 田中安行
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1年次からの作品研究を続け発展させる。 2. 英米児童文学史を1年次とは別の角度から学んで、立体的に理解する方法を学ぶ。 3. 各自のテーマ研究を深めるための文献研究を進めていく。 <p>[テキスト・参考書]</p> <p>猪熊葉子・神宮輝夫「イギリス児童文学の作家たち—ファンタジーとリアリズム」研究社出版 定松正「英米児童文学の系譜」こびあん書房 神宮輝夫「現代イギリスの児童文学」理論社 タウンゼンド「英米児童文学の歴史」岩波書店 Peter Hunt: Children's Literature --An Illustrated History, Oxford U.Press, 1995 Donna E. Norton: Through the Eyes of a Child, Prentice Hall Inc. 1995 John R. Townsend: Written for Children, The Bodley Head, London, 1990</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 英米児童文学史と評論を読んで自分の研究の位置づけを把握していく。 2. ゼミ旅行を利用して先人たちの研究方法を学んだり、卒業研究のための資料収集を行う。 3. 各自の進行状況をゼミで発表し、ゼミ全体でお互いから学びあっていくために討論を続ける。 4. 夏休みに各自の取りあげた作品についてのレポートを15枚以上に書いて、自分の卒業レポートの構成をまとめていく。 5. 英米児童文学史を学んで、各自の作品の生まれた社会的背景や歴史的な意義などについても研究して幅広い作品理解ができるようにする。 6. インターネットを使って外国の図書館や研究機関から資料を検索して利用する。 7. 卒業レポートの個人指導と平行しながら、ゼミでの中間報告を行い批評しあって研究を深める。 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点とレポート（年間数回）で行う。</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 井野上真弓
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>2年生になるとまもなく就職活動を始め、やがて社会人として就職していく学生たちに経済的自立の重要性と女性の職場での問題を考えさせ、問題解決の方向性を探る。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>参考書は授業を進める過程で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>現代女性論ゼミ（Ⅱ）</p> <p>前年度に引き続き、現代女性の抱えている諸問題について考察する。2年次では特に「女性と職業」に重点をおいて学習を深めていく予定である。</p> <p>学習内容はおおよそ以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 近代日本における女性労働の歩み 2. 生涯設計における就労の位置づけ ー経済的自立を求めてー 3. 女性労働の現状と課題 4. 女性労働と法 5. 女性労働の国際比較 6. 男女共生の社会システム 7. 男女平等を求める世界の運動に学ぶ <p>なお、職場における女性の状況を正しく認識し、問題解決の方向を探るために、調査や見学なども行う予定である。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>通常のゼミにおける発表内容およびレポート</p>	

【授業科目名】 卒業研究

【担当者】 専任教員・田中・井野上

【開講期】 2年前期・2年後期

【授業目標】

学生各自が自主的にテーマを決めて作成する。ただし、共同研究も可。枚数は400字30枚以上。所属ゼミでの研究を基礎にすることが望ましい。

【テキスト】

【参考書】

授 業 計 画

執筆に先だちガイダンスを行い、その意義や叙述のしかたなど一般的な事柄について指導する。後期はゼミ担当教員が、研究資料の扱い方や研究方法など具体的な事柄について個別に指導する。レポート提出後、例年、発表会を行っている。

【評価方法】

教職科目（2年）

【授業科目】 書道Ⅱ	【担当者】 神野雄二
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>書の表現、理論、鑑賞を通じ、書と書教育の基礎、基本を理解する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『書字指導 中学校編』全国大学書字書道教育学会編、荳原書房</p>	
<p>【参考書】『書字教育概要』日本教育大学協会第二部会書道部門会編、みづせい</p> <p>「書字書道教育研究」第1号～第11号、全国大学書字書道教育学会編</p>	
授 業 計 画	
<p>授業の前半は講義、後半は実技である。授業は、書と書教育の基本的な理解を目的としたものである。</p> <p>内容は、文字の特質と書字教育、中学校書字の概要、書字実技に関わる理論、指導計画と指導方法など、より広い観点から講義する。</p> <p>実技は、書字教育の基本書体である楷書体、行書体、そして仮名を学ぶ。これらの書体が、正しく、整えて、速く、また美しく書ける技術の習得をめざす。そのために中国と日本における名蹟や、名家の書を可能なかぎり臨書する。主に毛筆を使用するが、硬筆も取り入れる予定である。</p> <p>テキストとして提出した『書字指導、中学校編』を基として、内容に応じて適宜資料を配布する。</p>	
<p>【評価方法】 授業時提出する作品、レポートと課題作品、そして出席状況により、総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 教育実習	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>実際に中学校に行き、実際に生徒を指導する2週間の「実習」を体験する。 その中で、教職に就く者に求められる「力と心構え」を身につける。 かなり厳しい「事前指導」が続くので、覚悟しておくこと。「事後指導」もある。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>(事前指導に関して) 「教科書」は用いない。 適宜プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じ、事前指導中に紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>事前指導は、1年次に引き続き、実践的訓練を中心にする。 実習直前には様々な指導事項があるので、かなり忙しくなることを覚悟すること。</p> <p>詳細は、第一回の事前指導の際に述べる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>実習校からの評価を基本に、事前指導・事後指導の状況を加味して評価する。</p>	

博 物 館 科 目 (2 年)

【授業科目】 博物館実習	【担当者】 高橋秀雄
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>学芸員として実際の場に臨む場合に必要な心構えと、基礎となる知識・技術の修得を目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。必要に応じてプリントを配付します。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>全国大学博物館学講座協議会関西部会『博物館学概説』ほか。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>2 年次</p> <p>(1) 博物館見学：4 箇所、事前事後講義、レポート提出</p> <p>(2) 館務実習：1～2 週間程度、事前事後講義、レポート提出</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>(1) レポート (2) 作品 (3) 平常点 (4) 出席数 (5) 館務実習評価 の総合点</p>	

【授業科目】 視聴覚教育メディア論	【担当者】 落合 美代
【開講期】 2 年 前 期 (前 半)	
【授業目標】 印刷資料、視聴覚資料、デジタル資料等、資料がもつ特質と役割を理解し、選定・収集・利用のために必要な技能を習得する。	
【テキスト】 な し	
【参考書】 『資料特論』（新・現代図書館学講座14）東京 東京書籍 1998 『図書館資料論』（新編 図書館学教育資料集成5） 東京 教育史料出版会 1998	
授 業 計 画	
<p>図書館資料には、郷土資料と行政資料、印刷資料と視聴覚資料等、その資料が有する役割と特性がある。それぞれの特性を生かしたライブラリー運用と、資料制作のための技能を学習する。</p> <p style="text-align: center;">* 内 容 *</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資料のもつ役割と特性 2. 図書館資料の多様化と特色ある運用 3. 実習：視聴覚資料の制作 	
【評価方法】 レポート／制作資料	

司書科目（2年）



【授業科目】 図書館サービス論	【担当者】 森崎富喜
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>図書館は資料・情報を収集、整理、保管し、それを利用者に提供する機関であるが、そのうちの資料・情報の提供など利用者と直接かかわるサービスについて、その意義や特質、方法を学習する。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】 『利用者サービスと利用者教育』長澤雅男・小田光宏共著 雄山閣 1991(初版) (講座 図書館の理論と実務 7)</p> <p>『改訂 図書館活動』前島重方ほか 樹村房 1995 (図説シリーズ6)</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 図書館とそのサービス 図書館サービスの原則と形態(貸出 読書案内 情報サービス 利用者援助 教育・文化活動など)</p> <p>(2) 資料・情報提供サービス</p> <p>(3) 利用教育 方法とメディア 館種別の利用教育</p> <p>(4) 利用対象別サービス</p> <p>(5) 図書館サービスと著作権</p> <p>(6) 図書館サービスの協力</p> <p>(7) 集会・文化活動など</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、授業時に行うミニテスト、期末試験</p>	

【授業科目】 情報サービス概説	【担当者】 森崎富喜
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>情報サービスは、図書館サービスの一つであり、図書館利用者と資料・情報とを結び付け、人々の研究・学習を援助することである。近年、情報サービスという語が広範囲に使われているが、図書館における情報サービスとは何かを明らかにし、レファレンスサービス、情報サービス等について総合的に学習する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>『レファレンスサービス 図書館における情報サービス』長澤雅男 丸善 1995 『情報サービス概説』小田光宏 日本図書館協会 1997 (JLA図書館情報学テキストシリーズ4) 『情報サービス概説』渋谷嘉彦編 樹村房 1998 (新・図書館学シリーズ4) 『情報サービス概説』田村俊作編著 1999 (新 現代図書館学講座5)</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 情報サービスの概要</p> <p>(2) 情報サービスの基礎 レファレンスサービス 利用案内 レフェラルサービス カレントアウェアネスサービス オンライン検索サービス CD-ROMの利用サービス</p> <p>(3) 情報サービスの展開 読書相談サービス 学習情報提供サービス 地域における情報サービス 案内・紹介サービス</p> <p>(4) 情報源の種類と評価 図書館の情報源の種類 印刷メディアと電子メディア 館内で作成・編成する情報源 情報源の構築 情報源の評価</p> <p>(5) 情報ニーズへの対応</p> <p>(6) 情報サービスの管理</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">平常点 授業時に実施するミニテスト 期末テスト</p>	

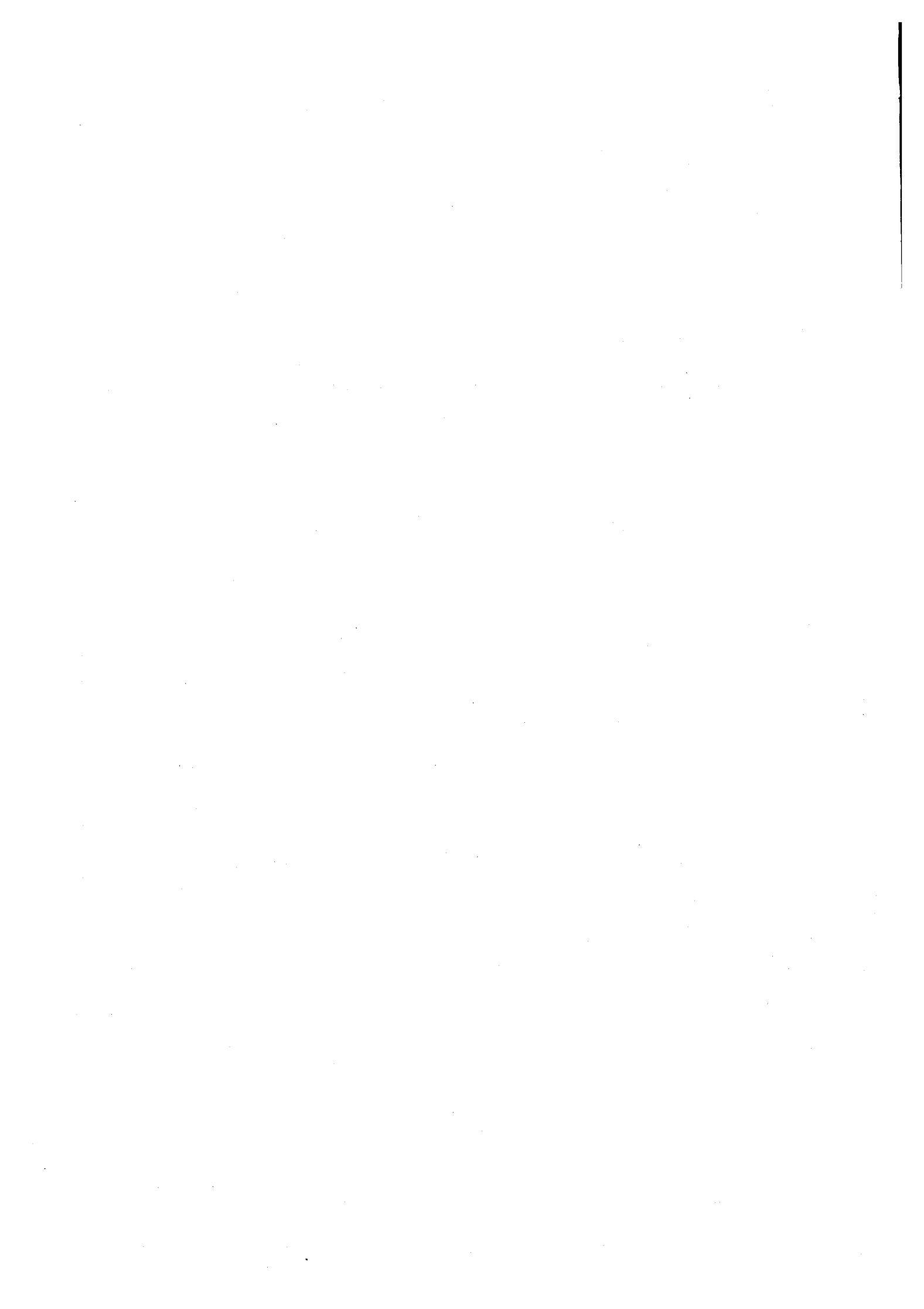
【授業科目】 レファレンスサービス演習	【担当者】 森崎富喜
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>演習問題を課し、レファレンス回答の手順や情報源の使用法をマスターする。</p>	
<p>【テキスト】 『情報源としての レファレンスブックス』長澤雅男 日本図書館協会 1995 『問題解決のための レファレンスサービス』長澤雅男 日本図書館協会 1995</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(1) レファレンスプロセスの実際</p> <p>(2) 情報探索の方法 レファレンスインタビュー 質問の分析から情報源の提供まで</p> <p>(3) 情報源の種類と特性</p> <p>(4) 参考図書とレファレンスコレクション</p> <p>(5) 電子メディアの活用</p> <p>(6) 書誌の作成</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業時の演習課題レポートと、期末のレポート</p>	

【授業科目】 専門資料論	【担当者】 森崎富喜
【開講期】 2 年 前期（前半）	
<p>【授業目標】</p> <p>人文科学、社会科学、自然科学の各分野における知識の構造と資料との関係について理解するために、それぞれの分野の資料の特性とその分野を代表する資料について学ぶ。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】 『専門資料論』中森強編著 東京書籍 1998（新 現代図書館学講座 9） 『専門資料論』戸田光昭ほか 樹村房 1998（新・図書館学シリーズ 8）</p>	
授 業 計 画	
<p>I. 専門資料の概要</p> <p>II. 人文科学 人文科学資料の特性 人文科学資料の書誌と参考図書 人文科学資料へのアクセス</p> <p>III. 社会科学 社会科学資料の特性 社会科学資料の書誌と参考図書 社会科学資料へのアクセス</p> <p>IV. 科学技術 科学技術資料の特性 科学技術資料の書誌と参考図書 科学技術資料へのアクセス</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">平常点 ミニレポート 期末試験</p>	

【授業科目】 資料特論	【担当者】 落合 美代
【開講期】 2年前期(前半)	
<p>【授業目標】</p> <p>印刷資料、視聴覚資料、デジタル資料等、資料がもつ特質と役割を理解し、選定・収集・利用のために必要な技能を習得する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>【参考書】 『資料特論』（新・現代図書館学講座14）東京 東京書籍 1998</p> <p>『図書館資料論』（新編 図書館学教育資料集成5）東京 教育史料出版会 1998</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>図書館資料には、郷土資料と行政資料、印刷資料と視聴覚資料等、その資料が有する役割と特性がある。それぞれの特性を生かしたライブラリー運用と、資料制作のための技能を学習する。</p> <p style="text-align: center;">* 内 容 *</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資料のもつ役割と特性 2. 図書館資料の多様化と特色ある運用 3. 実習：視聴覚資料の制作 	
【評価方法】 レポート／制作資料	

【授業科目名】 コミュニケーション論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 2年前期(集中)	
【授業目標】 人間が他者に説得的に働きかける時に起こる、さまざまな心理学的な現象について学びます。 また、人間の相互作用をゲーム理論の考え方から分析する立場を学びます。	
【テキスト】 【参考書】 特に指定しません。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 態度変容(第1日) <ul style="list-style-type: none"> 態度と説得的コミュニケーション 説得への抵抗とリアクタンス理論 2. 承諾誘導(第2日) <ul style="list-style-type: none"> 社会的勢力 さまざまな承諾誘導技法 3. ゲーム理論(第3日) <ul style="list-style-type: none"> ゲーム理論による対人行動の分析 さまざまな戦略と人間行動 	
【評価方法】 マークシート方式による筆記試験(持ち込みなし)	

【授業科目】 図書館特論	【担当者】 落合 美代
【開講期】 2年 前期(後半)	
<p>【授業目標】</p> <p>多様化している図書館資料のうち、特に視聴覚資料を中心に、その特性を理解し、運用のための機器操作を習得する。また、メディア・スペシャリストの資質について考察する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>【参考書】 『図書館サービス論』(新編 図書館学教育資料集成3) 東京 教育史料出版会 1998 『情報サービス概説』(JLA図書館学情報学テキストシリーズ4) 東京 日本図書館協会 1997</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 視聴覚資料のレファレンス・サービスに必要な機器の特性と操作技能を学習する。 ・ メディア・ライブラリアンの資質とレファレンス・サービスについて考察する。 ・ 視聴覚資料を作成するための技能を習得する。 <p style="text-align: center;">* 内 容 *</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 視聴覚ライブラリーの役割と運用 2. 視聴覚機器の特性と操作 3. 実習：ビデオ撮影と編集 4. メディア・ライブラリアンの資質 	
<p>【評価方法】 レポート／自主制作ビデオ</p>	



学籍番号・

氏 名・

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830
教務課042(346)5619